第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　四月十九日（木）

本紙定價　一部五錢　一ケ月一圓
廣告料　普通一行一圓三十錢　特別同　二圓五十錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話(3)二二五・三三〇〇

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二郎

東洋問題に對し　堂々我信念を披歴　その成否如何で進退を決す
華府會議と我態度

（東京國通）第二次華府會議に對する陸軍としての基本的態度は
海軍協定以外に東洋問題に觸れるならば初より會議に參加せず且會議途中東洋問題にふれる場合は會議より脱退すべし
とするにあるが、一部には九ケ國條約の樣な東洋の現實に即せず東洋平和確保に反する條約の存在は却つて東洋平和を亂ずは滿洲事變發生以痛切に體驗したところ故第二次華府會議で東洋問題が議題に提出された場合には堂々これに應酬し、更めて東洋問題乃至滿洲問題等に對する我が信念を全世界に披瀝せると共に東洋に於ける我使命を宣揚しこれが成否に依つて會議に對する我進退を決すべしとの意見が漸次有力化し居る情勢である

中村中將へ　花瓶と金一封御下賜

（東京國通）天皇陛下には中村中將に拜謁仰付けられ菊花御紋章入の花瓶一個と金一封を御下賜遊ばされた

五月中旬に　政民から十名の代議士來滿

（東京國通）衆議院各派交渉會は午前十時より議長官邸に開催、來る九月十六日開催される萬國議員會議並に同二十四日に開催される列國議會同盟會議に政友四名民政二名書記官一名を參加させることを決定した、尚五月中旬滿洲方面に政友七名、民政三名を特派するに決定し十一時三十分散會した

某重大事件　漸次全貌判明
成行如何では傍觀出來ず　政府當局頗る憂慮

（東京國通）齋藤內閣は三大政策も樹立し陸相留任も解決したのであとは專任文相の問題さへ解決すれば補强工作は完成だと目下之が人選に努力中であるが、六十六議會劈頭以來內閣の癌とも言はれる某重大事件が議會閉會後司直の手によつて審理が進められ漸次事件の全貌が判明するに至つた爲め合のところ政府には直接關係はなく第三者の位置に置かれて居るとは言へ議會で重大政治問題として扱はれて居たところから見て其の眞相如何では傍觀を許さずと觀る向もあり政府も其の成行を憂慮して居る

天津の在留邦人　六千九百六十九名

（天津十八日發國通）領事館警察署では此程昭和九年三月分租界內外在留邦人の戸口調査を完了したが、その統計によれば日本人の總人口は六千九百六十九名で、其內男三、四九〇名、女三、四七九名である

大同團結連繫運動　根本工作中止
若槻總裁の促進も反響なく　共同調査も不可能

（東京國通）政民兩黨の政策協同調査會設置は兩黨政務調査會で國防、通商貿易、教育振興、思想對策、米穀問題、國民負擔輕減等の諸項目を擧げ隨時調査をなす事に決定して居るが兩黨何れも協同調査會開催の意思表示なく一向進展を見ない、若槻總裁は現內閣に不滿な表明し、協同調査會實行促進の希望を述べたが一般に反響なく低迷狀態であり兩黨が熱意なく大同團結連繫運動の根本工作が中止されたゝめ政友主腦部が連繫運動阻止の態度を以て連繫の世話人會開催に反對して居る現情に於ては實現を期する事は出來ない唯當面の米穀對策に關し臨時議會を早急に召集するの必要に迫れば諸政策と切り離し唯單なる米穀問題協同調査會の開催は可能性はあるが全般的には立ち消への狀態である

せられる、よつて大藏省理財局では今回財政國策を樹立せんとするを機として專ら獨自の立場より財政政策及び公債政策をリードすべきものであると確信するに至り公債政策の改善が考慮されて居る

新疆全省は　今やソ聯の保護領
盛を傀儡としてソ聯の好手段

（上海十八日發國通）ソ聯がソ滿國境形勢緊張を宣傳し、世人の注目を極東に集中せしめその機に乘じて頻りに支那西部國境方面に積極的經營を進め　曩に中央亞細亞よりパミール高原を＝突破＝し、英領印度に出づる軍用道路を完成し世人を驚かした事は既報の如くであるが、今又新疆省歸來者の談はよりソ聯邦の新疆省進出の事實が明るみにさらけ出された、新疆省は從來支那中部進出の爲めの根據地として同じ目的を有する英ソ兩國の角逐場となり幾多の醜き爭鬪が繰返へされて居たが最近ソ聯に現主席盛世才に絕對的な援助を與へソ聯將校の指導する十二萬の蒙古軍を指揮せしめて遂に英國のバツクを有する馬仲英を完全に南部に追込んだものである、ここに於て目的の半ばを達したソ聯は盛を盛んに利用しカシユガルにソヴエート飛行機製作工場を設置せるを始め、國內各所に大工場を建設しこれ等工場の職工養成に名をかり年々三萬乃至四萬の省內勞働者をソ聯國內に送り共產教育を施した後　これを送り返し省內の赤化に努めてゐるが、共產教育を受けた勞働者はその數既に十萬人を越える狀態である、抗日に幻惑せる支那中央當局はこの事情を＝洞察＝し得ず却つて日本牽制のため新疆省を通じてソ聯を利用する積りで盛世才を重用せんとして居るが、今や全省はソ聯の保護領の如き觀を呈するに至つたと

極東危機を　赤軍盛んに宣傳

（奉天國通）當地着情報によればチタ市にある赤軍幹部並ひに共產黨リーダー連は新聞紙上或は各種の集會等に於て盛んに日本帝國主義の極東ソ聯侵略の危機を宣傳し極東に於ける赤軍軍備擴張の重要性を强調して居るが、右は國內に於ける極東の物資缺乏と當局の壓迫に不滿を抱き動もすれば勃發せんとしつゝある一般民心の反政府的態度を對外問題に轉換せしめんとするものでこの種の大々的宣傳工作は今後もなほ續行されるものとみられてゐる

近衛公會長の新國際文化協會　發會式擧行

（東京國通）日本の文化を海外に發揚し諸外國との親善の實をあげやうと言ふ目的の下に近衛文麿公を會長に德川賴貞候を副會長に樺山愛輔伯を理事長に小野塚東京帝大總長外各大學總長、其の他の教育化學、文壇、宗教、音樂、繪書、演藝、新聞等各方面の權威を網羅し百五十名を評議員として設立された新國際文化協會は十八日午後二時より評議員會を開き續いて四時より東京會館で發會式を擧行した　當日は廣田外相も特に出席し文化外交振興策に關し一場の挨拶をなした、尚畏き邊りでは同會設立の趣を聞こし召され十八日御補助として金一封御下賜の御沙汰あり副會長德川賴貞候は坪上外務省文化事業部長同伴同日宮內省に出頭湯淺宮相を經て御受した

朝鮮同胞が　滿洲へ大量移民
朝鮮總督府の來年度計畫

朝鮮同胞の滿洲移民計畫については事變以來總督府で考究を進めてゐたが田中外事課長が滿洲に出張我が大使館軍部その他關係方面と＝協議＝の結果何れも諒解を得たので事變に依る避難者の整理を行つた上で愈々昭和十年度から着手することになつた、移民方法は未だ決定を見てゐないが大体東亞產業公司を中心として半官半民の一大移民會社を設立し十ケ年位の年次計畫により一ケ年約二萬戸、十萬人計二十萬戸、百萬人の大量移民を＝滿洲＝に送り込む計畫である、尚右移民計畫は拓務省その他の移民とは全然別個に朝鮮獨自の立場から進めるもので滿洲開拓の第一線移民として期待されてゐる

京都光明寺　烏有に歸す

（京都國通）浄土宗京都大本山光明寺は十七日午後九時發火、八棟を一なめにして今朝二時漸く鎭火したが本尊、佛像、寶物一切烏有に歸し損害四百萬圓以上の見込みである

滿鐵正副總裁一行　明朝來京

林滿鐵總裁、河本理事、西脇秘書の一行は二十日午前七時着また八田同副總裁杉本秘書は同日午前十一時三十分飛行機でそれぞれ來京軍部方面その他に東京より歸任の挨拶を述べ併せて東京に於ける滿鐵關係諸問題の經過を說明し、大和ホテルに一泊のうへ歸連の豫定である

尾立新京電報電話局長赴任

（安東國通）電々會社の安東電報電話局長から新京局長に榮轉の尾立米喜氏は明廿日「ヒカリ」で離安、途中大連に立寄り事務打合せの上新任地に向ふこととなつた

佐野學等の　控訴公判

（東京國通）佐野學等の第二次共產黨五巨頭の控訴公判は十八日午前十時十五分より開廷　佐野は再度一國社會主義を主張し、同主義に君主制を認むと述べ、日本民族の優秀性を强調、暴力革命を否定、土地國有には大地主の土地は無償沒收　中小地主の土地は相當の價格で買收すると述べ、次で裁判長の「皇室の土地は」との質問に汗みどろで左樣な懼れ多い事はせぬと答へて佐野の訊問を終つた、鍋山は佐野の陳述を補足し、裁判長の被告一同への補充訊問を終へ、事實審理と、證據調べの後五時五十分閉廷した

その日く

□第二次華府會議迫る、東洋問題に觸るれば斷然我に脫退の用意あり
□國際聯盟脫退に際し孤立日本の榮譽を擔ひ得た日本なるを記憶せよ
□熙修聘特使けふ歸る、對日感想如何を問ふ前に歸滿感想如何を問ひたい
□東拓いよいよ積極的に對滿進出を計畫、東洋拓殖株式會社創立の昔にかへれ
□春競馬二十一日から開く、從事員の不正をよく聞くもの當局者の嚴たる取締を要望する

人事往來

▲武宗周氏（敦化郵便局長）十八日午後四時着敦化から
▲蒲中將（第〇〇〇團長）以下〇名十八日午後四時三十分發四平街へ
▲多田少將（軍政部顧問）同上
▲岡崎主計正（陸軍省經理局）十八日午後七時三十分着奉天から
▲フオリテヲ氏（伊太利世界觀光團）以下三十九日午前七時着安東から同日午前八時三十分發哈市へ

團体

▲大分商業學生五十八名二十日午前六時來京同日午前十一時三十分發奉天へ
▲京都桃山中學生百三十名二十一日午前六時來京同日午前十一時三十分發奉天へ
▲新京商業學校修學旅行團七十二名二十日午後七時三十分歸京
▲北滿訪日文化團十八名二十七日午前六時來京、二十八日午前八時四十分發哈市へ
▲香川師範學生六十五名二十八日午前六時來京、富士屋投宿二十九日午前十一時三十分發南下

公債の增發　實に三十億圓
九年度末公債九十億圓突破

（東京國通）高橋藏相の財政政策は公債政策を中心とする所謂膨脹財政であつて今日の非常時國防計畫の遂行、財界非常時打開のために重要な意義を爲したことは事實であるが藏相就任以來九年度まで三ケ年の豫算に於ける公債增發計畫は實に三十億圓の巨額に達し九年度末公債額は九十億圓を突破せんとする勢を示し將來とも今日の方針を繼續するに於ては公債、金融、金利物價等の重要經濟政策の遂行に破局的結果を招來し延いては財政政策自體の行詰りを惹起するやも知れぬ狀勢が察知

十年度から　小範圍の增稅

（東京國通）高橋藏相は十年度から小範圍の增稅斷行の意あり事務當局に調査を命じた

西藏へ航空路延長　上海から四日の旅
近く中國航空公司の手で

（奉天國通）上海よりの情報によれば南京政府交通部では現在の漢口、重慶、成都間の定期航空路を西藏拉薩迄延長すべく計畫し中國航空公司に對しこれが準備を命令し既に州延特別區康定、巴安の要地に飛行場を新設したが近く成都巴安間の試驗飛行をなし、先づ同區間內を定期に就航せしめ成績良好の曉は更に拉薩迄延長する方針で愈よこれが就航を見れば上海方面より西藏迄約四日を以て旅行出來ることとなる譯である

滿洲國勳位勳賞令

滿洲國政府は十九日附勳位勳賞令を公布す

朕參議府の諮詢を經て勳位及勳章に關する件を裁可し茲に之を公布せしむ

御名御璽

康德元年四月十九日　國務總理大臣

勳位及勳章に關する件

第一條　國家に對し勳績拔群功勞顯著なる者を表彰する爲め之を勳位に敍し勳章を賜ふ
第二條　勳位は左の順位とす　大勳位、勳一位、勳二位、勳三位、勳四位、勳五位、勳六位、勳七位、勳八位
第三條　勳章は大勳位蘭花章頸飾大勳位蘭花大綬章龍光章及景雲章とす
第四條　勳位に敍するは勳記を以てす　大勳位及二位以上の勳位の勳記には親署の後國璽をキンし勳三位以下の勳位の勳記には國璽をキンし國務總理大臣旨を奉して年月日を記入し署名す
第五條　大勳位蘭花章頸飾は大勳位に敍せし者に特旨に依り賜ふ大勳位蘭花大綬章は大勳位に敍する者に賜ふ
第六條　龍光章は勳一位に敍する者又は敍せし者に特旨に依り賜ふ　景雲章は勳位に敍する者にして龍光章を賜ふ者を除くの外勳一位乃至勳八位に敍する者に賜ふ
第七條　勳章の圖樣は院令を以て定む

附則

本令は公布の日より之を施行す

海軍武官　兵の等級　十九日附公布

滿洲國海軍武官及び兵の等級は四月十九日附をもつて新たに左の如く決定公布された　先づ科別は兵科（水兵）輪機科（機關）軍醫科（軍醫）軍需科（主計）造修科（造兵）軍樂科（軍樂）に分れる、武官等級は士官、准士官、軍士官に分れ、士官は更に將官、校官、尉官に、又准士官は士長、軍士官は上士、中士、小士に分れ、將官、校官、尉官は兵科、輪機科を軍官（本官）とし軍醫科より軍樂科迄を佐官（相當官）とす、而して兵科は海軍上將より海軍少尉まで、輪機科は海軍輪機中將より同少尉、軍醫科より造修科迄も同樣上將は無く　軍醫、軍需、造修中將より同少尉迄　軍樂科は軍樂上尉を最高とし、軍樂少尉迄となつてゐる　士長は甲板　輪機、看護、軍需、軍樂科各科ともに置かれ上士、中士、少士も士長同樣の科別を以て上、中、少士とされて居り、兵の等級は上、中、少、練兵の四兵に分れ、兵科は甲板、輪機科は輪機、軍醫科は看護　軍需科は軍需、軍樂科は軍樂何々と呼ばれる事になつて居る

通車通郵問題　結局成立せん
汪、孫兩氏種々接衝の結果　立法院遂に屈服か

（南京十八日發國通）南昌會議に於ける決定事項は極秘に附され明確を缺く結果一般輿論は立論の根據なきため總じて極めて冷靜であるが唯支那紙に依れば『立法院が政府に對して華北問題特に通車通郵に就いて强硬態度を執るやう壓迫を加へんため外交問題委員會に質問條項の起草を依頼した』と報ぜられて居る、然し汪精衛氏は目下立法院長孫科氏と折衝中でもあり結局大勢の赴くところ立法院も遂に屈服の餘儀なきに至る模樣である

新京署官舍增築

新京署では署員の增員で官舍の不足を生じてゐるが本年度の豫算で三十戸を新築することに決定した總工費は約五萬圓である

堀田次官一行日程

旣報、堀田海軍政務次官の視察日程は左の通りで、なほ一行は同次官を始め川島參與官荒木主計少將、山本秘書官らである
廿一日午前七時來京駐滿海軍部視察▲廿一日午後一時新京發（飛行機）午後三時二十分ハルビン着▲二十三日臨時防備隊視察▲二十四日午前九時ハルビン發（飛行機）午後一時着奉天着　又は二十四午前九時半ハルビン發列車で午後三時二十五分新京通過赴奉すべく二十六日午前七時奉天發釜山へ向け歸還の豫定である

激增する　外人旅行者

旅行シーズンに入るとともに發展する滿洲國に憬れて投資や視察の目的で來滿する世界各國人士の往來も目に見えて頻繁となつて來たが外交部各機關の調査による最近一、二、三の三ヶ月に於ける入境通過外人數は一月四六七人、二月四三四人、三月五七八人、計一、四七九人に上つてゐる、尚三月の統計について之を國籍別に見ると△白系露人の二〇四人を筆頭に△英人七八人△ソ聯人七五人△米人五六人△獨人五四△佛人二五人の順序となつてゐる

天氣

天氣	西の風晴一時曇
氣溫	最高二〇度一　最低六度三
日出	前四時四十九分
日入	後六時二十七分
月出	後八時三十二分
月入	前〇時六分
滿潮	前一時四十分　後二時二十分
干潮	前七時三十五分　後九時二十五分

日滿悲曲　生命線を行く（上演上映）
國友雄吉（荒川芳三郎畫）
（百四十七）

出戻りの惱み

「おまへ、さつきの姉さんのことで、腹を立てゝ、それで暇を取るといふんだらう――？」と、久彌は問ふた。

「いゝえ――坊ちやんが、あまり、お可哀さうだから――」

お愛のその言葉が、チト受取り兼る言葉のやうに、久彌は思つた。

「坊やが、何故可哀想だらう？」

わざと久彌は、訊くのであつた。

「奥さまやお嬢さまが、もう少し坊ちやんを可愛がつてあげて下さらなければ――」

お愛は、言ひにくさうだつた。

しかし、その顔には、決心の色があつた。言ふだけのことは、何も彼も言つてしまつて、暇を取らうといふ氣持があり／＼と、その顔に讀まれた。

「そのことには、マンザラ僕も、氣が付かんではないが――」

「でも、あなたが愛してあげて下さるから坊ちやんは、どんなに幸福だか知れません、あなたが居なかつたら、坊ちやんは、それこそ立つ瀬がありません」

お愛は、ソット涙を拭ふのであつた。

「僕は又、おまへが、親切に、世話をしてやつてくれるから、坊やは幸福だと思つてゐる。そのおまへに去られたんでは、それこそ坊やは、可哀想だ」

「出來ることなら、わたくしも辛抱をしたい、と思ひました。――ずいぶん、今日まで、辛抱もして來たんですけれど、わたくしが居ては、餘計に坊ちやんが、苦勞をなさるだらうと思つて――」

「槇姉さんと來たら、まつたく分らないんだからなあ――」

久彌は、さういつて、溜息をした。

さう言つて慰めるよりほか、差當り、彼には、言ふべき言葉が無かつた。

その槇は、今年廿四歳で、既に婚期を過ぎて居る。もつとも彼女は既に、一度結婚した。良人は遞信省の若い事務官であつたが、婚後、一年とは經たない中に、家庭不和のため破綻が來て離別されてしまつた。

それ以來、彼女はズット家に居る。が、其後チョイ／＼縁談はあつても、どうも面白く行かない。

それは、彼女の強情と我儘とが、累を彼女に及ぼしてゐるのかも知れなかつた。

そのくせ彼女は、出戻りの女通有の惱みから、一層手の付けられない女になつてしまつた。遠慮どころか、反つて大きな顔をして家中に我を張つて居るのだつた。

だから、姉の平案を、能く知つてゐる久彌だけに、どんなに割引をして考へても、チットモ、姉に同情はできなかつた。

「ネエお愛、辛いだらうけれど、僕の頼みだ。どうか、もう少し、辛抱してお呉れ、兄さんに、坊やのことなんかで、餘計に心配をさせたくないと思つて居る。坊やが讃められるなんて、兄さんが聞いたら、それこそ、どんなに氣持を悪くするかも知れない。茂彦のことは、おまへ任せにしてあるので兄さんは、安心し切て居るんだ。それだのに、おまへが、突然、暇をくれなんて言ひ出したら、それこそ、どんなに失望するかも知れないよ」

「わたくしも、坊ちやんが、可愛くつてならないんですけれど――」

斯うなると、お愛も亦、茂彦への愛着のために、去就に迷はされずには居られなかつた。

茂彦の爲にならば、もう一度、思ひ直して、どんな辛抱でもしてみやうか、といふ氣持も起らないでは無かつた。

久彌も、是非、なんとかして、この女を、慰留せねばならないと思つた。

その時、二人は、無論、誰にも聞かれはすまいと思つて話してゐたのであつた。

しかし、廊下をへだてた向ふの書齋に、ヂットして動かぬ影法師があつた。いつの間に歸つて來たのか、それは槇子であつた。

高地でも變りなく平均して給水
全部新タンクから一般へ 六月半に實現する

呼び聲ばかりでねつから解消されない新京の上水飢饉に最も影響するのは高地方面でこれは現在各水源地から市內一般へ直送されてゐる關係から低地方面は比較的潤澤に給水が行はれてゐるも一歩高地とか二階、三階になると忽ち水の出が惡くなるわけで、そうしてこれら給水の殘りが水道タンクに貯藏される仕掛になつてゐるが今度滿鐵では各水源地よりの湧水を一度び第三水源地を通して全部新タンクに收容し然るのち一般へ送水することゝなりこれがため新たに專用送水管を敷設計畫中のところいよいよ近日着工六月十五日までに竣工せしめることになつたこれで高地も低地も平均に給水が出來て從來の如き低地方面の繼子扱ひの非難が解消されるはずである

居留民會評議員の候補者顏觸れ
廿二日に擧行さる

新京居留民會評議委員選擧は二十二日午前十時から午後三時まで朝日通り赤十字社新京支部內で行はれるが

選擧 にうとい新京市民間には氣勢あがらず、從來は官選であつたのが今年度から官選半分民選半分になつた關係でもあらうが市民は氣乘りしない、民選評議委員は今度が最初であると同時にいまゝで十二名であつた評議委員が人口增加の結果今年度から更に三名を增加して十五名內、七名が官選で八名は民選である、選擧權、被選擧權はいづれも同樣で別に面倒なことはない、たゞ滿二十五歲の男子であつて民會公費を六ケ月納入したものは投票權もあれば立候補の資格もある但し一ケ月でも公費を滯納してゐる者は被選擧權がない、ところで最近の下馬評として呼び聲の高い者は田中善平(東洋院主、現會長)松田彌三郞(松田商會々主)笹沼四郞(上洲樓主)橋本與作(松本洋行主)尾崎靜馬(滿洲舘主)寬城子大西多吉(多門舘主)井下有也(新富樓主)栗山七之助(南嶺區長)などの諸氏で、未だ定員(民選)にも滿たぬ程である、このうち

新顏 としては大西、栗山、井下の三氏、後は現在委員だけであるが現在委員の古谷一氏なども風の吹きやうぢや乘り出すやも分らぬと、材木商の吉井榮吉氏も出馬の見込なく、行方昇氏も吉長吉敦に勤める身でむづかしいだらうと見られてゐる、なほ現在委員は次の通りである

田中善平、松永時三、安藤芳吉、九山久、行方昇、古谷一、尾崎靜馬、中村七之助、吉井榮吉、松田彌三郞、橋本與作、笹沼四郞

大典記念運動會開催地
昨年度の約二倍

滿洲國体育協會では例年の建國記念運動會として帝政實施記念大運動會を本年は特別に六月三日全滿各地で大々的に擧行する事になつたが、昨年度開催地は新京、北滿兩特別市各一 奉天省二九 吉林省六、黑龍江省八 熱河省二計四十七個所で、現在体協本部へ達した大會開催可能地の報告は奉天省四十七、吉林省十五 黑龍江省一〇、熱河は未報告であるが 十數ケ所の模樣で、昨年の約二倍に上り尙增加の傾向にあり、斯くの如きは地方治安が全く恢復し又は漸次良好となりつつあるを裏書するもので各方面より興味深く觀られてゐる

滿洲製藥株式會社設立

滿洲製藥株式會社は新京七馬路九號に本社を置き資本金五百萬圓で既に株の公募を終り社長に中野守之助、技師長に醫藥博士臼杵天成氏總務部長法博金澤熊夫氏以下不日來京披露を行ふと共に事業に着手すると

滿洲國軍の精銳
騎兵旅團

南嶺にある滿洲國軍の騎兵第二旅團、王克鎭少將の麾下騎兵隊は滿洲國軍の最も誇とする優秀兵で軍隊生活は規律正しく午前六時起床午後八時消燈迄息をつく間もなく敎練又は學課等一糸亂れもなく正しき軍事敎育をほどこされている(寫眞は集團襲擊する騎兵)

本社扱ひ義捐金に函館市長感謝
その後の義捐金も近日送附

曩に函館大火に際し同胞の慘禍座視するに忍びず日本新聞協會加盟社一齊にその救恤義捐金募集を開始するに方り本社は、偶々在京北海道樺太同人會より同樣の擧に協力を求められたるを抱擁しこれを發表するや世の同情翕然とあつまり新京を中心に各方面の日滿露人の義金幾多の美談を織込んで集つたことは屢報の通りであるが去る三月三十一日に取纏めた金二千三百十二圓也を當地正隆銀行支店扱ひを以て函館市長坂本森一氏宛送金し置きしところ十九日朝、同市長から別項の如き感謝狀と同市收入役坪山照次氏發行の受領證が到着した、依つて改めて紙上をもつて義金醵出者に對し本社からも感謝の意を表します因にその後に於ける義金は機を見て取纏め送金の手筈となつてゐる

×

拜啓益々御淸穆の段奉慶賀候陳者過ぐる三月二十一日黃昏より翌二十二日拂曉に亘る大烈風中に起りし未曾有の當市大火災は二萬六千六百余戶を烏有に歸せしめ市街の大半を焦土と化し罹災者數實に十三萬七千二百余人に達し負傷者三萬余人死者又二千人を突破せんとし飢餓と寒氣に脅され又は親を失ひ夫に別れたる妻子の狂亂慟哭等其慘狀實に見るに忍びざるもの有之候然るに深厚なる御同情の下に御懇篤なる御慰問と共に極めて迅速に多大の物資の供給救護班の派遣勞力奉仕或は義捐金の御寄贈等惠みの光明を御與へ下され御蔭を以て之等罹災者の危急を一時救ふことを得一同唯々感謝感激致し居候尙此上は順調なる救護は勿論官民一致協力大函館復興に力を致し御期待に副ふ可く考へ居り候間更に一段の御指導御援助を賜り度願上候

目下混雜中にて甚だ失禮ながら御禮迄も有之可くと存じ候間御關係者へも宜敷御傳聲被成下度不取敢御禮迄如斯御座候 敬具

昭和九年四月 日

函館市長 坂本森一

新京日々新聞社殿

旅館料金を五十錢宛あげるか
各地と比較の結果 物價高に拘らず一番安い

新京旅館組合では昨年以來數回に亘つて五味組合長並に役員が新京署保安係に井之上保安主任を訪れ物價高並に

家貸 の暴騰で三十五軒(ヤマトホテル、滿洲屋を除く)の旅館はいづれも苦境に立ち、外部から見たほどの好景氣でなく多額の資金を投じた利息すら償還することができないものが多いので、事變前の値段に戾してもらふべく陳狀したが、當局では時節柄組合の要求を即時に受け入れることができず伸び伸びとなつてゐた處同署でも朝鮮、京城、並に大連奉天ハルビン等の都市の旅館料金を嚴密に調査したところ右都市に比し一番安く、その割に物價が一番高いのでちかく

各等 とも元の料金(現在料金に五十錢增し)に戾す意向である

地方事務所裏の火事騷ぎ

十九日午前十時四十五分ごろ和泉町一丁目一番地舊地方事務所裏に積み重ねてある電柱から發火しもうもうと黑烟を立てゝいるので直に新京消防隊員が急行消火に努めた結果同五十分鎭火したが、場所から一時は大騷となり附近は人山を築いた、原因は電柱に塗つてあるコールターに煙草の吸殼から引火したものである

大同學院第二部日本見學旅行團 廿七日出發

大同學院第二部學生七十一名は日本各般の事情を見學のため團長馬冠標氏外三氏に引率され四月二十七日新京驛發訪日旅行の途に上ることゝなつた

右第二部は滿洲國各縣の優秀なる滿人少壯官吏中より人材を拔擢入學せしめ王道國家建設の大任を擔ふ有德有爲の官吏を養成するを目的とするもので今回先進友邦日本の實情を見學研究せしめ將來に於ける職務遂行上に資し、尙廣く日本の現狀を全滿に紹介せしめ日滿親睦提携の實をあげんとする目的である 尙一行は往路は朝鮮經由京城を見學、途中京都に降り、入京滯在六日間の豫定でそれより日光、横須賀を見學、歸路關西各地を巡遊、神戶發大連經由六月五日歸來するもので、總旅程四十日である

墜落した安達曹長 危篤に陷る

既報新發屯南方上空で試驗飛行中機關部に故障を生じ墜落重傷を負ふた安達曹長の經過はその後おもはしくなく危篤の狀態である

注目の的(三) 大新京の景氣打診
長春村時代は視察團も下車のみ

飮食店組合長 割烹數虎主人 柳澤喜重

私は明治三十九年現在の領事館が奉天領事館長春分館といつた所謂長春の草分け時代から今日に至つたものであります、長春村から國都新京までには色々の變遷がありましたが私がこの商賣を初めたのが大正七年ごろ當時はシベリヤ出兵の事變で物價も安く非常に景氣がよかつた、あんなことは二度とこない景氣でせう この好景氣は大正九年頃まで續いてその後はこの度の滿洲事變の前迄不景氣續きで、今日よりよかつたいふ日は一日もなく誰れもが苦しみ拔いてきたのです、開業當時の金融方面は賴母子講が唯一の機關でありましたが隨分不自由でありました、この間こそ經濟的苦難時代といひますか、この長い間の不景氣は吾々のみでなく一般的でありますが人間と言ふものは不景氣の風が吹いてくると必ず緊縮政策をとるもので一層金の廻りが惡くなるものですそれに加へて長春村時代は社會からその存在を認められず、視察團などもハルビンを視察するともこの地は一寸下車するにとゞまるといふ具合で、接客業者としての吾々の立場は決して有利でなかつたのです 昭和六年の暮れ事變直後には同業者仲間でも永年の不況に堪え切れず夜逃げをしたといふ哀話も一つや二つではなかつたのであります、それに人口も少いと來ているのでよくもこゝまでふみとゞまつたものだと感心するぐらいでした、この不況時代も今回の事變から姿を消して再び戰時景氣のおとづれとなつたのであります、即ち昭和七年、八年の好景氣となつたわけですが、これは最近のことでもあり皆樣のよく御承知であることです、同業者も昨年の五月カフエー業者と分離した時百三十軒でありました、吾々の商賣は可なり小資本で開業出來る關係上ますます增加する可能性をもつて居ります、滿洲の景氣は結氷期と密接な關係があり昨年の冬頃から今日までは景氣もやゝ落ち目でありましたが、これから後は工事も初まり幾分か盛り返し盛夏の頃は絕頂だらうと思ひます、然しこの度の景氣は吾々にとつて余り有利であると思はないのです、經營上よい材料をとその選擇については細心の注意を拂はねばならず、反面物價は非常に高い關係上利益はいたつて少いのです、只人の增加によつて數で經營を持續することが出來るといふにとゞまるでせう、それにこの度の景氣は一時的のもので目下建設時代にあるが爲めに只働ける期間のみのものだと思つています、人々の心の持方から考へて見ても婦人の如きは內地の婦人と比較して非常に虛榮心が強く殊に若いものなどはいつもうかうかと浮かれ廻り貯蓄心などは更になくまことに愁ふる世相だと思ひますがこれなどいはゆる新開地氣分で眞に落ちついた世の中だといふものでありません、安定した眞の景氣はすべての建設が終つてから後に來るものだと思ひます、吾々はこの一時的現象の景氣に浮かれず健實にやる事を第一に心掛け、來るべき時期に備へる必要があらうと思ひます

街の日記

室町六年生 南滿へ旅

室町小學校第六學年男女兒童百九十二名は山口、光野、平川、矢島の四先生に引率されて來月七日午前十一時三十分發列車で周水子、大連、旅順方面へ修學旅行をする、歸校は十一日午後四時四十分の豫定、なほ一行に衞生婦澤田シメ子さんが同道すると

商業開校記念日 二十四日

新京商業學校では來る二十四日が開校記念日に相當するが今年度は第十四回の記念日で別に催し物もやらず、學校長からその旨を生徒にいひ傳へるの程度であると

犬飼アナさん奉天へ轉勤

新京放送局犬飼アナウンサは今回奉天放送局に轉任し十九日午前九時發列車で赴任した

商業學校の修學旅行團 明夕歸る

新京商業學校第五學年日支修學旅行團一行七十二名はいよいよ二十日午後七時三十分着鳩で歸京の豫定、なほ沿線のものは途中下車して新京在住の生徒だけが二十日に歸京する、旅行參加者は二日間休みで二十三日(月曜日)から授業が始まる

鮮農射たれて死亡

十八日正午ごろ北鐵南部線三岔河で同地居住鮮農金翼咸(五七)さんが三名の馬賊に襲はれ腹部に盲貫銃創を負ひ十九日午前七時卅分新京滿鐵病院に收容したせつな死亡した

滿京の榮子逃走

城內西五馬路料亭滿京抱へ藝妓榮子こと大曲ソノ(二四)は十八日午前七時ごろ三味線その他身の廻り品を携帶し逃走した、目下新京領事館署で搜査中である

馬を奪ふ

十八日午後八時ごろ二道河子蓮花泡を同地居住越某が馬三頭ロ馬一頭をひき通行中突然三名の賊が現はれ內一名は拳銃を突付け脅迫し馬を強奪逃走した

落しもの

▲錦町三丁目一番地大阪每日支局原田稔氏は十八日午前十時ごろから午後四時の間西公園で皮製蟇口一個在中三十五圓を落した

盜難居

城內西五馬路齊藤利七氏所有自轉車一台時價四十圓を十八日午後六時ごろ自宅前で竊取された

けふの銀相場

鈔票對金票	一一七、三五
現大洋對金票	一一〇、六〇
國幣對金票	一〇九、五〇
現大洋對鈔票	九四、三五

手提金庫を盜む

城內大經路五號和田惣左衛門氏方へ十八日午前十一時から同三十分の間に何者か侵入し奧の間にあつた手提金庫一個在中現金百圓、郵便貯金通帳一冊 認印(和田)二個を竊取された

爆彈三勇士表勳碑 五月六日除幕式

(東京國通)荒木大將、近衞文麿公等發議で鎌倉山に建造中の爆彈三勇士の表勳碑はこの程完成したので五月六日午前十時から除幕式を行ふ事となつた

故今江警正告別式 あす太子堂で

故首都警察廳司法科警正今江米太郞氏の告別式は二十日午後三時から祝町太子堂で擧行されることになつた

東京、新京間も十一時間短縮
十二月一日を期し主要幹線大スピード、アップ

(東京國通)省線一萬五千キロ全部に亘る列車時刻大改正は今年十二月一日を期して行はれるので鐵道省では一月以來運輸局を總動員し此の劃期的大改正の骨子となるべき基礎的原案を秘密裡に作製中であつたが、漸く立案を了したそれによると主要幹線の大スピードアップが行はれるもので既報の如く東京、新京間が十一時間短縮される外、超特急『つばめ』號は二十分を短縮し東京、大阪間はかつきり八時間となる、又臨時『つばめ』號は不定期に變更し何時にても運轉し得るやう準備せしめる事となつた、又特急『富士』は東京下關間で一時間半を短縮するもので、又普通列車も一時間近くの短縮を見る筈である

滿洲視察幹旋委員會 第一回幹事會を開催

十八日午後二時協和會中央事務局會議室に於て第一回滿洲視察斡旋委員會幹事會を開催關東軍第四課、國務院情報處文敎部、協和會 大使舘、新京驛鐵道事務所、新京鐵路局ツーリストビユーロー、滿洲事情案內所の各幹事出席、先づ第一回委員會の事務報告をなし、終つて東亞產業協會、交通部、新京鐵路局、國務院統計處を委員に增加の件が可決され、續いて委員會の規約決定を見た、更に協議事項に入り 委員長に丁交通部大臣副委員長に河本滿鐵理事、坂谷總務廳次長を推薦方交涉の件を幹事長に一任する事となつた、尙視察團幹旋に各機關と連絡の上正確なる滿洲事情の紹介便宜を圖る事を詳細に協議し、連絡の圓滑を圖るため幹事會は每月一回例會を開く事に決定

通遼

片岡憲兵伍長着任挨拶

(通遼發)當地憲兵分隊に新任の片岡憲兵伍長は十四日日滿主なる處を歷訪着任の挨拶をするところがあつた

岡田分署長赴任

(通遼發)當警察分署長岡田七郞氏は這回遼陽警察署に榮轉十三日午前十一時發列車にて家族同伴で赴任した

新妻新分署長着任

(通遼發)新妻新任當警察分署長は十四日午後七時着列車にて家族同伴着任した

父米太郞儀急性肺炎ニテ自宅療養中ノ所藥石效ナク本月十四日午後四時九分死去致候
追而明二十日午後三時祝町二丁目太子堂に於て告別式執行仕候間此段御通知に代へ謹告仕候

嗣子 今江貞晶
親族 今江忠三郞
總代 山本俊男
友人 谷口慶弘
高山勝司
大原萬千百
京都會々長 大垣鶴藏
第二區內會總代 北原廣

冬から「春へ」……氣候轉換期に

どんな注意が必要か（四）

多から春へ―煤煙から塵埃への非衞生的な氣候轉換期に當る昨今衞生上特に注意をせねばならぬ時期であるが、その豫防方法並にことに注意を必要とする事柄についての衞生上の問題に各專門醫は語る

在滿日本婦人には不姙症が多い

關東廳囑託醫　中市一雄

一　子宮內膜炎尿道炎，ラッパ管炎

滿洲における婦人病の內一番多いのは子宮內膜炎、尿道炎ラッパ管炎である、これ等の疾患の原因はすべて淋毒から來るもので男性から直接の感染を受けるのみでなく婦人の局部は淋菌が侵入し易い構造になつている關係上混浴等から感染する場合も少くない、その他月經時の不攝生からも起つてくるからして月經時の攝生についてはよく注意せねばならぬ、わけてヒステリーの如きは婦人病と密接の關係があるからして月經時における攝生については左の通り注意が必要である

イ、局部を淸潔に安靜にして精神的の刺戟を加へぬこと

ロ、月經間は男女の交合を絕對に禁止すること

ハ、乘物、長途の步行はさけること

ニ、食物は刺戟物をとらぬこと

ホ、下腹部及腰部を冷さぬ樣ずること例へば洗濯などさけねばならぬ

一　不姙症

滿洲においてはこの不姙症が可なり多い樣に見受ける、その原因を綜合していふと、子宮の位置が變じて居るのが多い關係にあるが、かゝる場合には速かに專門醫について治療をせなければならぬ、殊にこれから暖くなるにつれて暑さの爲めにかへつて下腹部及腰部が冷えやすいから常に腹腰等に濕布し、冷えない樣注意しないとラッパ管子宮等に熱を生じて疾患となり易い

一　白帶下（コシケ）

この病氣の多い人は早期に治療をしておかぬと將來子宮癌の如き惡性のものに變るから注意が必要である

一　注意

婦人病は婦人の羞恥心から概して治療がおくれ勝ちとなるため遂には手術を施こさねばならぬ樣な惡い結果に陷り安いから疾患の場合自分のために勇敢に醫者のもとに飛び込んでいただきたいものである

童子團大會出席者に團体割引

來る五月十日新京で擧行される滿洲國童子團親閲式に參加する童子團体に對して滿鐵では左記により運賃の割引をする

一、割引區間滿鐵社線各驛から奉天、新京驛相互間

一、割引期間五月三日から十二日まで

一、等級三等

一、割引率及び取扱方

イ　二十名以上の團体に對しては監督官廳發行の證明書により滿鐵所定學生團体割引を適用する

ロ　十名以上の團体に對しては監督官廳發行の證明書により各人五割引とする

ハ　その他の取扱方は總て所定による

巨篇揃ひの四月の松竹映畫

松竹キネマは四月第一週得意のオール、トーキーウヰーク編成「多木心中」と「夢見る頃」を京、坂、神で封切り陽春シーズンのトップを切つたが愈よ大作勢揃のレパアトリーを發表した、即ち左の如き諸作である

▲さくら音頭　蒲田超特作オール、トーキー、監督五所平之助、時代劇の寵兒坂東好太郞の現代劇進出第一回主演に田中絹代、川崎弘子、江川宇禮雄、大日方傳、藤井貢、齋藤達雄、水久保澄子、逢初夢子、大塚君代、坪内美子、飯田蝶子等で蒲田ベストメンバーを配した超豪華版

▲明暦名劍士　京都特作キング誌所載小山寬二氏原作、井上金太郞監督、林敏夫、林長二郎主演に千早晶子、廣橋昭子小林重四郞出演武士道の譽れも高い名劍士影浦林之助が孝子の仇討に助勢する明暦秘聞

▲大學の若旦那武勇傳　サウンド版、好評の大學の若旦那シリーズ第二作で淸水宏監督、藤井貢、三井秀男、坪內美子、光川京子、井上雪子、黑田記代出演

▲武者繪崩れ　文藝春秋大衆文藝當選第二作右太プロ特作、小石榮一監督作品市川右太衞門主演に關操の應援出演の他歌川絹枝、天野双一、高堂國典助演

▲祇園囃子　サウンド版、長田幹彥氏原作、淸水宏監督、藤井貢、光川京子、黑田記代主演に京都から高田浩吉、飯塚敏子特別出演の歌謠篇

▲鹿兒島小原節「薩摩心中」ポリドールレコードで天下を風靡せる大衆歌謠曲映畫サウンド版篠山吟葉氏原作星哲六監督、高田浩吉、八雲理惠子主演

▲限りなき鋪道　大每東日連載、北村小松原作成瀨巳男喜監督主演はラッキーセブンスター中田君子（藝名近く發表）主演山內、結城、井上、オールスターキャスト

▲月形半平太　オール、トーキー陽春超豪華版原作行友李風氏監督多島泰三監督林長二郞主演に特別出演として尾上榮五郎、坂東橘之助、八雲理惠子、及川道子、水久保澄子、飯田蝶子、柳さく子、志賀靖郞、南光明の蒲田加茂オールスターキャスト

▲日本女性の歌　オールトーキー陽春超特作品、池田義信監督栗島すみ子主演、竹內良一他オール、スターキャスト　以上

新刊紹介

日の出五月號　新鮮味豐

ものみな潑剌として動き出した五月の英氣をのせて「日の出」が現はれた、附錄に、讀物に、小說に、近來にない張り切つた勢を示してゐる、時恰も、日本海大海戰の記念日に際して、佐藤鐵太郎の「膽を冷した日本海大海戰」は單なる海戰記に非ずして、當日作戰の重大な過誤に處した奧深き人間處世の道を敎へてゐる、九十翁岩切信夫氏の「乃木聯隊の聯隊旗を奪ふ」は正に秘中の秘とも稱すべき實話で、史實に名高い聯隊旗の行衞が明らかにされてゐる興味深い讀物だ、一寸遠い國の物語でもきかされてゐるやうな八幡良一の「南國武俠傳」も、ところが沖繩で唐手術の戰法など珍らしい、しかしコクのある讀物としては佐山英太郞の「兒盜五寸釘寅吉」を第一に推さう、連載となつてゐるので次號が待たれる、特輯物では「人氣花形珍話持寄り披露會」が一等面白い、持寄つた人物は、みな一流の聲樂家アナウンサー俳優等であるが、よくもこんなに面白い話ばかり集めたものだと感心させられる、これは恐らく他雜誌の足許に及ばぬ粒選りの珍話集であらう、「私が世に出る第一步」は、新らしく學窓を出る人等には無二の敎訓とならう、朗らかなる物では「若けのいたり珍談」「夫婦座談會」「お訓染の「人生武者修業」」泣き笑ひのロケーション」とサトウ、ハチローの夫婦坐談聯なかなか賑やかであるが、かの嫌味なきを買ひたい、聊は明朗その人にふさわしく「裁判官の思ひ出座談會」は出席者が大審院の判事や檢事或は裁判所長などの、いかめしい連中だが、今までに公表されなかつた秘話、珍話も少くない、殊に死刑囚の場面など、興味深く此の座談會ならでは知ることのできない特殊のものと云ひ得る、スポーツ、ファンには、春なつかしき「六大學リーグ戰豫想記」がある、優勝校から最優秀打者と、リーグ戰前の形勢をつくして遺憾なきものがある、先づサイレンの唸り聲はこの一篇にきかれる、少說には中村武羅夫の「月に立つ虹」三上於菟吉の「源三郞異變」がデビューしてゐるが、いづれも次號は波瀾を豫期させる力作だ、探偵小說の讀切では、甲賀三郞の「痣のある女」加ふるに世評高き、加藤武雄「春の暴風」谷讓次「新巖窟王」吉川英治「修羅時鳥」等を主體とし、アメリカ海軍ならぬ無敵の輪形陣、一寸やそつとで他の讀物陣では拔けないもの、今月特記すべきは恒例の別冊附錄の外に本文附錄がある事だ、題して、一九三六年の空中戰、堂々三十餘頁に亘る大讀物、獨逸前皇帝の豫言のやうに將來の戰爭が一に空中制覇の遲速にあることは勿論であるが、痛快なる空の戰鬪記として、これ程迫眞性を持つた讀物はないであらう、それから別冊附錄には「昭和新落語集」だ、職業人の二三を除いてはみんな、小說家や軍人、新聞人、評論家等の畑違ひの人ばかり、しかも、ピチピチ跳ねてゐるやうな題材で落語の新機軸を出してゐるのは感心する、終りの「新聞人の爆笑座談會」は痛快この上もなき笑ひのオン、パレードとして成功したものだ、別冊附錄共定價五十錢　東京牛込　矢來、新潮社發行

料理の話

美味しい牛肉の鹽むし

牛肉を大切のまゝ兩面に鹽胡椒をふり、三十分間程そのまゝにしておいてから、蒸籠で蒸します、百匁の肉でしたら、約四十分位で蒸せますから、蒸籠から取り出して薄く切り、粕ふき馬鈴薯を二三箇附合せ、ウスター、ソースをかけて出します

ラジオ

二十日（金曜日）新京

午前十一時四〇分	ニュース	（日滿兩語）
同　十一時五九分	時報	
午後〇時五分	經濟市況	（奉天より日滿兩語）
同　一時〇分	演藝	（滿語）
同　三時二〇分	ニュース	（日滿兩語）
同　三時三〇分	經濟市況	（奉天ヨリ日滿兩語）
同　四時三〇分	ニュース	（滿語）
同　四時四〇分	ニュース	
同　四時五〇分	ニュース	（鮮語）
同　五時〇分	子供の時間	（英語）（奉天ヨリ）
同　五時三〇分	時事解說	（滿語）
同　五時五五分	氣象豫報	
	プログラム豫告（滿語）	
同　六時〇分	ニュース	（東京ヨリ）
同　六時二〇分	語學講座	（滿語）講師　高宮盛逸
同　六時四〇分	語學講座	（日語）
同　七時〇分	講演	同　植松金枝
	帝政紀念全國綠化運動ニ就テ　實業部大臣　張燕卿	
同　七時三五分	歌澤	（東京ヨリ）歌澤寅右衞門社中
同　七時五〇分	連續ラヂオドラマ（其ノ二）	
同　八時三〇分	時報	ニュース（東京ヨリ）
同　八時四五分	ニュース	氣象豫報、プログラム豫告
同　九時〇分	演藝	（滿語）艷春院　雲霞
	引續ニュース（滿語）	

ラヂオの修理は東京無線　電話四〇九〇番へ

新京區公示第三號

新京附屬地第三區長島名福十郎氏ハ都合ニ依リ昭和九年三月卅一日限リ辭任セリ

昭和九年四月十四日

南滿洲鐵道株式會社新京地方事務所長　荒木章

東拓愈よ積極的に 對滿進出計畫
高山總裁拓相に諒解を求む

（東京國通）高山東拓總裁は十八日午後三時半官邸に永井拓相を訪問し東拓今後の對滿進出事業計畫及びこれが實行に關し種々報告諒解を求めた

高山總裁 滿支視察日程

（東京國通）東拓總裁高山氏は十九日午後九時東京驛發二十日正午神戸出帆の『うらる丸』で大連に向ひ奉天、新京、天津、北平、濟南、上海各地を視察して五月二十日歸朝の豫定である

粮石船舶運輸執照制度 五月一日より實施

財政部では特産脱税の根絶を期して嚢に粮石鐵道運輸執照制度を實施し其成績は極めて良好であるが之と併行してはるべき船舶運輸執照制度も其後準備中の所愈々來る五月一日より實施することゝなり昨四月十八日財政部令第九號を以て公布された、即ち鴨緑江及び遼河等の河川を利用して船舶により輸出される粮石は年額一千萬圓に達するが之等輸出粮石の脱税を防止取締るもので船舶運輸による粮石も鐵道運輸執照制度と同じやうな通關手續きを要することゝなり之が實施によつて今後特産の脱税は完全に根絶されるものと期待されてゐる、その手續要綱は左の通りである

第一 康德元年五月一日以後粮石を船舶に依り外國に輸出し又は關東州に移出せんとする者は通關手續を爲す際其の粮石の粮石船舶運輸執照と共に下附を受けたる納税濟證明書を税關に提出することを要す若し右書類の提出なきときは税關は其の粮石の輸出を許可せず

第二 粮石船舶運輸執照は輸出地税關所在地所轄税捐局に出産粮石税納税濟證を提出せば之と引換に直ちに無料にて其の下附を受くることを得

第三 粮石船舶運輸執照又は納税濟證明書を税關に提出せずして粮石を外國に輸出し又は關東州に移出せる者は百圓以下の罰金に處せられる、依つて出産粮石税を脱税せる者は甫脱税金を追徴せらるゝの外其の一倍以上十倍以下の罰金に處せられ、尚情状に依りては其の粮石を沒收せらる

第四 但し左の各號の一に該當する粮石に付ては取締規定を適用したい事となつて居り、尚鐵道に依り輸送せる粮石を更に船積となし外國に輸出するものについては納税濟證明書がそのまゝ粮石船舶運輸執照と看做されることとなつて居るから手續上從來と何等變更をみない譯である

甲、國内生産粮石を關東州より他に輸移出するもの
乙、滿鐵附屬地生産粮石たることの確認し得るもの
丙 再輸出粮石たることの確認し得るもの
丁、小舟に依り輸出する粮石にして其の輸出許可を受くるに際し税關に輸出申告書の提出を要せざるもの

三百萬圓の シエール洋灰工場
採算圏内に達し設立決定 滿鐵重役會の方針

（撫順國通）撫順オイルシエール工場の副産物として化學的作用に依るシエール洋灰の研究はこの程完成の域に達したので愈々これが會社設立の計畫が進められ十七日の滿鐵重役會議で右大綱方針の決定を見た右によれば本社及び工場を撫順に置き資本金三百萬圓持株滿鐵半數、殘る半數は民間に公募し年生産高は十萬噸産出の筈である、本業は各國でも研究中であるか工業的採算點に達したるものはこれを以て嚆矢とする

繁忙を極める 新京金融組合 三月の業績

三月中に於ける新京金融組合の業績を聞くに組合員三月末現在數は四四七名口數は二二〇七口に上り

▼預金 受入高一〇八五六七圓五一錢、拂出高九〇八四四圓七九錢月末現在高一四〇五〇一圓〇二錢
▼貸出 三三七六三一圓八八錢同收三〇五三五一圓六一錢月末現在高四二二五一二九圓〇五錢である

尚解氷工事期に入つた事とて新規加入者や買出の申込みが殺到しそれに三月末組合の決算期なので同組合では四月になつてから毎夜徹宵して事務を執つてゐる、といふ多忙振りである

設立を許可 日滿棉花、緬羊協會
會長理事の人選は今月下旬

（東京國通）拓務省では十八日現下の内外情勢の要望に鑑み財團法人日滿緬羊協會及財團法人日滿棉花協會の兩協會の設立を許可したが、右協會の會長理事の人選は今月下旬に創立總會を兼ね理事會を開き決定する事となつたが、協會の本部は何れも東京に置き支部を京城（朝鮮）に置く事となつた

八年度京鐵管 内發送貨物は 八分の減少

昭和八年度京鐵管内發送（接續線發を含む）貨物數量は北滿一帶の豐作を見越して八年度四百萬四千餘噸が豫想されたが、その實績は以外にも三百七十六萬一千餘噸と言ふ數字を示し前年度に比し三十二萬七千餘噸、八%を減少してゐる、此の主なる原因は管内十三%の增加を見たに拘らず齊北四兆地方の貨物が激減した爲である前年度との比較を示せば次の如し

	本年	前年	比較
管内	一、九七七、四三九	一、七一六、六二六	二六〇、八一三
四兆	四九〇、七七八	七二三、六二八	二三二、八五〇減
濱北	一、一七〇		一、一七〇
拉濱	三三、七七〇		三三、七七〇
北滿	六二五、五三六	一、〇九八、九五七	四七三、四二一減
京圖	六五二、一一〇	五四九、〇三三	一〇三、〇七七
合計	三、七六一、九九三	四、〇八九、二三六	三二七、二四三減

日滿經濟ブロック 結成基礎資料（十）
緬羊資源について（下）

最近の情勢

最近日滿緬羊協會設立せられ第一次改良種普及事業に從事することゝせり（昭和八年八月）

一、名稱 日滿緬羊協會（財團法人）
二、基金 二百萬圓
三、出資方法 日滿兩國政府各五十萬圓宛滿鐵三十萬圓民間當業者七十萬圓
四、事業計畫
一、最初十ケ年を第一期とし緬羊改良飼育奬勵を目的とす
一、協會は年々十萬圓を支出し緬羊の改良及增殖の指導奬勵に當ること
一、指導機關を設置すること
一、拓務省は初年度六萬七千圓の經常費補助金を交附すること

滿洲國としての利點及缺點

利用すべき諸點
一、放牧地方に於ては飼料價値ある諸種の野生牧草繁茂せるため厳寒期を除き殊更に牧草栽培又は其の他濃厚飼料を要せず
二、牧草の外高粱、大豆、粟等の飼料豐富なるは滿洲の最も特長とするところにして殊に大豆のサヤは飼料として經濟的なり
三、改良種の普及並に飼養頭數の增加は滿洲人の收入を增す所以なり
四、滿蒙は一般に空氣乾燥し雨量積雪比較的少きを以て羊の健康に適す

留意すべき諸點
一、滿洲國緬羊の殆ど大部分は蒙古地方の放牧地帶に飼養せられ居るを以て居住常なき遊牧の民に改良種普及の實行は困難なり
二、蒙古人の牧羊は羊毛を得るためにあらず毛皮を防寒服とし或は苞の建築材料とし肉を食料とするにあるを以て年々屠殺せらるゝもの百萬頭を下らずこの傳統的慣習を破ること容易ならず
三、從來奔放粗野なる管理に馴れたる蒙古人に改良種の如き綿密なる管理を要する飼羊は望み難く且つ週期的に襲來する羊疫及大降雪のため多くの緬羊を失ふことは赤頭數の容易に增加せざる一因なり
四、蒙古地方の飲料水は極めて惡しく多量のアルカリを含有するを以て緬羊の飲料として不適當なり

經營又は開發に關する參考

一、氣溫低き滿蒙にてはメリノー種よりも先づカムバツク種雜羊及カシミヤ種の如き比較柄强健にて寒氣に堪へ得る羊種を輸入交配して改良蕃殖を計る方捷徑なり
二、山羊と在來緬羊の比較

	カシミヤ山羊	在來緬羊
分娩數	一回一頭	同上
體力	稍强し	稍弱し
飼養費面積手間	較差なし	較差なし
剝皮の市價	稍安し	稍高し
一頭の收毛量	一封度五	四封度
一頭當り收毛價	稍高し	稍安し

カシミヤ羊毛の歩留
一、原毛 一〇〇斤
二、選別後 七五斤
三、洗上後 四〇斤
四、荒毛落後 二二斤
五、特等品に製すれば 一八斤

三、歐米列國の羊毛消費量（一人當り平均）
白耳義十三封度 佛國十封度 英國十封度 米國、獨逸、西班牙五―六封度 我國は人口約七千萬人として一人當り平均消費量約三封度なり

三月中旬 對滿支貿易

（東京國通）大藏省發表―三月中對滿洲國、關東州、中華民國及び香港貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	四三、六七三
輸入	二七、九三二
合計	七一、六〇五
出超	一五、七四一
尙一月中以降累計	
輸出	一〇三、八一五
輸入	八〇、三一五
合計	一八四、一三〇
出超	二三、五〇〇

三菱系保險會社 配當決定

（東京國通）三菱系の各保險會社の今期配當は夫々昨日の總會で左記の通り決定した

東明火災海上 年四割据置
三菱海上 無配
東京海上 四分減の年一割六分

日本洋灰一分增配

（東京國通）日本洋灰會社は今期配當一分增配の九分に決定した

日本內地の 失業者漸減

（東京國通）內務省社會局調査による昨年十二月一日現在の失業狀況は給料生活者百七十二萬九百九十三名中失業者六萬九千三名で又日傭勞働者百七十八萬九千七百五十六名中失業者十八萬三千三百五十一名でその他の勞働者をも含めた調査全人口七百四十一萬百二十四名中失業者は三十七萬八千九百三十一名、全體に對し五一一パーセントに當り前月との比較に於て〇、〇八パーセントの減少を示して居る

阿部紡聯委員長 辭任

（大阪國通）阿部紡聯委員長は豫てより庄司東洋紡副社長に委員長辭任を申出て居たが、十八日の委員會で公式に辭任を發表し、委員會は極力慰留に努めたが翻意せずよつて鐘紡、大日本、富士、錦華、明正の各社を委員に擧げて廿六日の紡聯定時總會迄に極力慰留懇請の筈である

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 二〇片一六分三
同 遠限 二〇片四分一
孟買銀塊 五四留比八分七
紐育銀塊 四五仙四分一
米英爲替 五弗一三仙二分一
米日爲替 三〇弗三八仙
米支爲替 三四弗三二仙
スチール株 五一弗八分七
アナゴンダ株 一六弗二分一

▲印棉
現物 一二仙〇〇
五月限 一二仙〇五
七月限 一二仙二九
十月限 一三仙〇一
十二月限 一三仙〇七
一月限 一三仙一四
三月限 一三仙一四
ブローチ 一九六留比
オームラ 一七四留比
ベンゴール 一三九留比

▲上海標金
本寄 六六八五〇
歩値 六六九〇〇 六七〇五〇 六六七〇〇

▲上海日本向
第一回 一二三五〇〇
第二回 一二三七五〇

▲上海倫敦向
賣値 一志四片一六分一
買値 一志四片八分一

▲上海紐育向
賣値 三四弗一六分七
買値 三四弗三分一

▲大連金鈔票
現物 一二九〇〇 一二九〇〇
近限（先限）
寄付 一二八二五〇

各地市場

▲大連上海向
引値 八二〇〇 八二五〇
高値 八二七五 八二五〇
安値 八〇五〇 七九〇〇
出値 七八二五 七八五〇 七七〇〇 七六〇〇 八〇〇〇 八二五〇 七四〇〇 四九二萬

▲大連煙台向
九六三五〇 六六七二五 七五〇 七七五 三二五 二五〇

▲阪神日米爲替
第一回 三〇弗四分一 三〇弗八分三

▲大阪株式
大株 一三二六〇 一三二一〇
大新 一三二五〇 一三二五〇
鐘紡 二〇九〇 二三九〇
同新 一三一一〇 一三〇四〇

▲同短期
大新 一三二六〇 一三一〇〇
鐘新 一三九四〇 一三九一〇
東新 一一七四〇 一一七二〇

▲大連株式
五品 二六三五〇 二六三五〇
先限 二六三七〇 二六三七〇

▲大阪三品
當限 二〇六二〇 二〇七六〇
五月限 二〇六九〇 二〇六二〇
六月限 二〇四六〇 二〇三四〇
七月限 二〇二九〇 二〇二八〇
八月限 二〇二一〇 二〇一七〇
九月限 二〇〇〇〇 二〇〇〇〇
先限 一九九六〇 一九九四〇

▲大阪棉花
當限 五九六一〇 五九七九五
先限 六〇四〇 六〇三〇

▲大阪期米
當限 二四〇六 二四〇六
中限 二四三九 二四三三
先限 二四七九 二四九九

▲仁川期米
當限 二三九〇
中限 二三八八
先限 二三三四 二三二九

▲横濱生糸
現物 五五三〇〇 五五三〇〇
當限 五三一〇〇 五三一〇〇
先限 五四二〇〇 五四二〇〇

▲神戸豆粕
四月限 三三八 三三八
五月限 三三九 三三七
六月限 三三九 三三九

カルカッタ麻袋
青筋 二六留比八分三
鐵筋 三三留比八分五
爲替 七六留比八分五

▲大連特産
麻袋 現物 三六五厘
大豆 寄 引
袋込 三三三 三三四
四月限 三三三 三三三
五月限 三三六 三三六
六月限 三三〇 三三〇
七月限 三三四 三三四
八月限 三三七 三三七

豆粕
現物 一〇九五 一〇九五
五月限 一一〇五 一一〇五
六月限 一一一〇 一一一〇

豆油
現物 七七〇 七七〇
五月限 七七〇 七七〇
六月限 七七〇 七七〇

高粱
現物 一六〇 一六〇
四月限 一六二 一六二
五月限 一六四 一六四
六月限 ‖ ‖
七月限 一七〇 一七〇
八月限 一七二 一七四

新京市況

特産 現物 出來高
大豆 七、六〇 二車
高粱 三、〇二 一車
鈔 現物
鈔票對金票 一二七、三五
現大洋對金票 一二九、六〇
國幣對金票 一〇九、五〇
現大洋對鈔票 九四、五五

新版 江戸八景（上映禁止）
行友李風氏外四氏作　鏑銀平他二氏畫

江戸役者と御殿女中 三
行友李風

「な、なんだつて――」
あきれ顔の按摩が――
「見世物小屋が？――」
「さうよ――は……」
爲吉の笑ひ聲をきいて、
「や、――なんだ。――兄さん御笑談を仰しつやたんで――」
とあきれる按まの鼻につけいつて、銀藏は、
「あたりめえよ、――こんな話しを眞にうけるお前たちが、よつぽど、おめでてえんだ。はゝゝゝ」
「これは、ひどい。――如何に酔興とはいへ、聊もねえ、あつしらまでかつぐなんて……」
「はゝゝゝ」

銀藏は、すつかり、按まをごま化し終せたと喜んで、
「まあ、うらむことはなしにしようぜ。――さあ、爲、もう、遲いや、歸らう／＼」
と、爲吉をうながして、そこそこに歸途につきました。
こちらは、件の按ま。
「へゝゝ、とんでもねえ。――一杯かつがれてしまつた。――馬鹿々々しいや――」
とそのあとから、きこえよがしに高笑ひを殘りましたが、
「どれ、わしも、そろ／＼歸りませうかい。――ばん頭さん、大きにおじや魔をいたしました」
と、やがて、これも、居酒屋のおもてへ出ましたが、小一丁も歩いたと思ふ頃、前後にきつと心をくばり、パッチリと見開いた兩眼――。
當時、新町平河町で、按ま渡世の宗の市――とは、浮世を忍ぶ假の名で、實は上總東金無宿の坊主小兵衛といふ、島破りの兇状持ちでありました。

「まてよ――」
と、歩みをとめて、心の中のひとりごと。
「連れの野郎がじや魔をしたばつかりに、肝腎のところで、話しをそらしてしまひやがつたが、手がかりは、尾張の屋敷へ納まる掛持ち。――相手が當時大分限の伊豆藏とありや、相手にとつて不足はない。――どんな魂膽があるか……よし、一つ、探つてくれよう。」
銀藏、爲吉の二人は、うまく、笑談に茶化してしまつたつもりでしたが、これが、ありきたりの按摩だつたらともかく坊主小兵衛と肩書きのにせ按摩。――兇状持ちの耳にはいつたのですから、ごまくわしはきかなかつた。！
何ごとか心に、ひとりうなづくと、今川橋の河岸傳ひに、おほり端へ遠まはりして、やつて來たのが、本町三丁目。
「按ま、――按ま。――上下十二文。……」
折柄、きこえる、石町鐘つき堂の四つ。――
伊豆藏の表に出ると、靜かにあたりを見まはして、人なきや、窺つて居りましたが、やがて、持つてゐた杖を、溝板の隙へつつこんで、着物の裾を、クルリと高まくり、……土藏について、横丁へまがると、裏手の切戸口。――天水桶の足だまりに、手拭ひの結びだまを、忍びがへしへ投げかけると――馴れたもの。これを手がかりとして、スル／＼と、屋根傳ひにかけ上つた。
つづいて植込みの松の枝から石燈籠を傳はつて、庭先へ忍びこみました。
◆……
時しも、月の始め。――三日の闇。……
◆……

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞
朝刊
四月二十日（金）
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 廣告料金 普通一行一圓三十錢 特別同二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

內地ものに劣らぬ
滿洲の地酒（一）
躍進の安東酒造業

安東の邦人向清酒釀造は安奉線開通の直後、即ち明治四十五年に端を發し、爾來幾多の困難に遭遇したが、斯業者不斷の努力と、昭和六年一月改訂された保護關稅及び滿洲景氣による需用增加の三拍子が揃つて最近は目覺しい躍進振りを見せ、其の釀造高は八年度に於いて七千七百石と推算されるに至つた。稅率改訂直前昭和四年度の二千二百石に比すれば、三倍餘の激增振りで、原木の缺乏から將來を悲觀視される木材、製紙業とは反對に酒造界は頗る朗らかである。「値は安いがまだまだ飲めない」と云はれた品質も最近は同業者が協力して其向上に精進した結果、漸次其の成果を擧げ、殊に此の秋市場に現れる新酒は「決して內地物に劣りません、まあ賣出したら飲んで見て下さい」と斯業者が鼻を高くしてゐる位である。

以下安東酒の全貌を描き出して見るとざつと次の樣である

バトロン、輸入稅

日本の櫻正宗が一度鴨綠江を渡ると、原品一丁四十圓のもの輸入稅四十五圓、運賃雜費五圓をかけて輸入者は之を百圓から百十圓に賣つてゐる有樣である。然るに地元酒は、其最上品でさへも半額以下の四十四、五圓、市中小賣値は一升賣六十五錢から一圓三十錢程度である。安東酒造業無上のバトロンが輸入稅であることは右によつて明かであらう

現在の稅率は左表に示す如く、樽入毎百斤國幣三五、一〇圓、瓶入毎一斗二升國幣一七、九四圓、外に附加稅として正稅に對し五分を課することゝなつてゐるが、これは學良政權時代の排日政策の遺物を昭和八年七月海關接收と共に、金孫單位を國幣單位に改めて繼承したものである。

期間	種目 樽入（毎百斤）	瓶入（毎一斗二升）	單位	備考
昭和四、一二、一以前	〇、九五	〇、四七	海關兩	
同 四、一二、一改訂	五、一七	二、五八五	同	
同 六、一、一改訂	三五、一〇	一七、九四	金孫圓	外ニ附加稅ヲ正稅ノ五分
同 八、七、一三改訂	同	同	國幣	

附記 一金孫圓ハ國幣一、九五　一海關兩ハ國幣一、五六

釀造情況

酒の兩親が米と水であることは勿論であるが、ほかに氣候と技術の如何が重大關係を持つてゐることは云ふまでもない

「米」安東酒に主として使用せられるのは朝鮮の龜ノ尾米であるが鳳凰城附近の米も近時品質向上の結果使用されてゐる。

「水」これは家によつて異り上水道專用、井戸水專用、二者混用の三方法が有る、最近ボーリングによつて二百呎以上の井戸を掘らうとしてゐる向が有るのは注目される。

「技術」邦人向のものは、どうしても邦人が手にかけねば、といふので杜氏は皆石川、岡山縣等から聘せられてゐるその手下に使はれる勞働者は大部分が鮮滿人でその割合は二者半々程度である。

斯く人爲をつくせば殘るお天氣樣は天委せ大抵十月中旬から仕込準備を始め十一月初旬より翌年三月末までに釀造を了へることになつてゐる

發展を辿る
北滿電氣通信事業（三）
電々會社の事業を通じて見る

局舍を圍んで對米對獨用の大空中線が高さ八十五米の天に聳ゆる鐵塔九基に懸垂されて居る外十數基の高柱にはこれ又各種の空の線が展張されて居る　局舍の一部分は目下工事中のところもあるが、機械の取付けはすつかり完了してゐる、之等の機械は對米對獨用の高電力短波送信機二臺、外に二臺都合四臺設備からなつてゐる、

對外用の機械の內一臺は學良時代奉天送信所で使用されて居たものを滿洲國で接收、更に今回當發信所に移されたといふ經歷を有つてゐる、この對外用の機械が業務を開始すれば、直接歐米と通話が出來ることになる、送信所の主任技師は之につき左の如く語つた

從來北滿地方より內地への電報は奉天又は大連を仲繼とし、又歐米へ對しては日本を仲繼してゐたので敏速と正確を兼ね備ふべき電信業務に兎角の非難があつた譯です然し、今度の機械が完成すれば日本並に歐米とも直接通信が出來ることになるから之等の缺點は一掃されることになります、現在大連、奉天は北滿からの電報を仲繼してゐる關係から非常にその取扱數が多いので延着誤謬も從つて多く非難してゐる向もあるとのことですが、北滿からの中繼がなくなれば扱數も自然減少するので今よりも敏速に正確になることは確かです、この送信所が完成すれば滿洲國各地の電話加入者は居ながらにして日米、アメリカ、ドイツ等の電話加入者と直接話が出來るのですから便利になります

目下對外とは常に試驗を行つて居りますが非常に好成績で機械の約半分の能力を發揮したのみで充分通話が出來ます

と、次に孟家屯にある受信所は孟家屯驛より約三粁程のところに敷地約六十萬坪の中に送信所同樣優秀な設備を備へてゐる、當受信所の最も誇るべき裝置は短波送信に對し電波傳播上の大妨害者である、フエーデング現象を征服するデバーシテー式指向性受信空中線設備である

以上の送受信所の中樞機關として新京中央電報局內に無線電信中央操縱所を、又新京中央電話局內に無線電話中央操縱所が設置されてゐるが、これ等各通信機關完成の曉は國都新京の發展に一大寄與をなすであらうことは今から大いに期待されてゐる

ハルビンを中心として

ハルビンは北滿に於ける政治經濟の中心地であると同時に又電氣通信事業の中心をもなしてゐる、北滿の今後の通信諸施設はこゝを根幹として縱橫にその驥足を伸ばすべき地位にある、現在既にハルビンを中心として東は北滿鐵道に沿ふて露滿國境方面に、西はチチハルハイラルを經てマンチユリーに、南は新京と拉賓線、京圖線を經て北鮮方面に北は北安鎭、佳木斯、富錦方面に夫々電信電話の幹線路を構成してゐるが、今後は更に之を根幹として僻遠の地に至るまで通信網な擴張することになつてゐる、而してこの北滿各地への通信網の進出には治安の維持が重要な條件をなしてゐるが、幸に滿洲帝國の善政は帝政實施を楔機として益々加速度的に僻地に及び日滿人は安んじて地方都市に進出しつゝある狀態であるから之等開拓者に對する通信機關の施設は最も必要且つ緊急事といはねばならぬ

會社當局も此の點に大いに着目して創立匆々にも拘らず北滿地方の施設に五十九萬圓の多額を投じ、北滿各市に對して電話施設を行つてゐる

以下北滿に於ける通信施設は如何なる動向を辿りつゝ發展してゐるか、又その施設の現狀はどうなつてゐるか、につき述べて見よう

ソ滿國境（三）
ブラゴエの全貌

二、コムソモール　六、六四三名　內男七五%、女二五%

三、ピオニール　八九九六名

昨年初頭に於ては二、二七八名を算してゐたが、最近に行はれた淸黨運動により黨籍を剝奪されしもの總數の二二三%、同情者に移向されしもの九%と稱せられてゐるが、尙少數は復黨を許可せらるべきを以て、結局共產黨員の現勢は約一、八二〇人程度と推定され、これをブラゴエ市の全人口と比較すれば約三%と思考せられてゐる

△人口

ブラゴエ市の人口は革命前の一九一三年に約七萬を有し最高を示してゐたが、其後革命戰と列國干涉等により約半數に減じ　一九二二年ソヴイエート政權の樹立と共に再び增加を示し一九二六年には六萬一千、一九二八年には六萬二千となつたが、以後は漸次衰調を辿つてゐた、即ち、一九二九年に六萬一千を示し一九三〇年には五萬六千、次いで一九三一年には五萬一千となり、その翌年一九三二年には僅かに增加したが、一九三三年には其の數約七千と稱せられる農民の都市外追放に依つて再び減少せる模樣である

一九二六年の統計によつてブラゴエ市の人口を人種的に見ると全人口六萬一千二百五人の約八〇%强は露西亞人であつてその數五萬九百九十八人、第二位は約六%の支那人であつて三千八百九十八人次は五%三千二百十四人のウクライナ人、朝鮮人は三百七十八人其他は三十三人である

右に擧げた數字はソ聯側の資料に據つたものであるが、同年ブラゴエ帝國領事館の調査によれば、支那人及び朝鮮人は右と相當の差異がある

即ち、支那人は總數二千四百九十八人、內男二千三百三十一人、女百六十七人、朝鮮人は總數二百八十三人、內男百七十八人、女百五人である

尙當地方にに居住する鮮支人の大半は無學であつて極めて少數の共產黨員があるのみでソヴイエート機關及び赤軍に勤務してゐるものを除いてソヴイエート政治の何であるかを解するものはなく僅かに雜役夫及び手工業者として程度の低い生活をしてゐる

△行政

一、行政區劃

帝政時代に於けるブラゴエ市はアムール洲（オブラスキー、現在のアムール洲よりも廣い）の中心となつてゐたが革命後右洲はアムール縣（グヘールニヤ）と改り一九二六年に再び改組されてアムール管區（オクルーグ）となり、次いで一九三〇年、管區制の廢止と共に地氏（グライ）執行委員會の決定により、ヴエフネ、ブラゴウエーシチエンスク、アストラハーノフカ等附近農村三十數ケ村を倂合し大ブラゴエ市を形成したる趣であるが其後の實際について見ると右は必ずしも實現されたものではなく單に計畫のみを以て終つたものゝ如くである、次いで一九三三年初頭アムール洲（オブラスチ）に改組され、ブラゴエ市は現在同洲の中心となつてゐる

二、機關

ブラゴエ市に於ける各主要機關を擧げれば次の如くである

洲執行委員會（商業部、農務部、財政部、工場部、公共經濟部、勞働部、人民教育部、保健部、通信部、民族部）
市委員會
共產黨洲委員會
同市委員會
衞戍司令部
師團司令部
合同國家保安部
民警通信管理部
勞働檢察部
稅關
洲職業同盟
黑龍江國立船舶支部

三、豫算

ブラゴエ市の豫算は戰前、即ち一九一三年度に於て百十六萬七千留であつたが、革命後一時激減し一九二五年に於ては七十三萬一千留となり、其後次第に增加し、一九二九年－三〇年度に於ては戰前の約二倍即ち二百二十五萬一千留となつた、然るに一九三二年度に於ては更に倍加して歲入五百四十萬六千留、歲出四百五十五萬一千留に膨脹した

日本の聖女
生田葵　作
南部龍平　畫

八九　奮匠の相談（三）

「うむ。然うして二日經つて土の中で蘇生つたところを掘出すのかそれが首尾よく往つたなら、それこそ好都合であるが、あの藥は時の調子に依つて出來、不出來があると聞いて居る、若し仕損なつたなら、お高樣はそのまゝあの世の人となる危險が伴なひもする」

數之丞は承知し兼ねるやうな顏であつた。

「然うしてお師匠樣は牢獄へ潰入つた後、何うなさるのでございまするか。矢張り一緒に藥を飲んで死んだことになつて外へ運れ出されるつもりですか、それとも、そのまゝ牢獄に止まつてゐるおつもりなのですか」

吉兵衞が不審をうつた。

「さあ、私も一緒に飲んで一旦は死人になつて了ふつもりでございます」

「それはいかん。斷じて相成ることは出來ない」

貴下に數之丞は否定したが、更に言葉を繼いで、

「お高樣とお前樣二人共にあの藥を飲んで、一旦は死んで了ふ。マリヤ樣のお惠みで首尾よく、よみがへれば可いが、若しも、うまくいかぬ時は、後に殘つた者は何としませう。信者達一同は手足をもがれたも同樣な心地にならねばならない」

「そんな不思議な藥のあることあつしも、お高樣から聞いて居りましたが、それが、眞正に然うした利き目があるものなら用ひたら面白いと思ひます。一旦死んだと思つて土に埋めたものが、日ならずして生きかへつて町を歩き出す、役人の奴等は今迄よりも一層切支丹を氣味惡るがつて、今後は捕へることを憚みませうし、容子を知らない信者達は、神のお惠みだと思つて餘計に信仰心を增すと云ふ二つの利益があるぢや御座いませんか」

吉兵衞は、半ば、面白づく云つた。

「吉兵衞言葉を愼め、汪つかりすれば我等の教義をひろめる大切な二人の方々の生命に關はることぢや。私が外國にゐた頃、然うした藥のあることは耳にしたことはある。然うして一度巴里の劇場でセキスピアと云ふ人が書いたロメオとジユリエツトと云ふ演劇の中で然うした藥を用ひ蘇生るのを目撃したこともあるが、私自身で實驗したことでないのだから、賛成し兼ねるのぢや。私は危險のないもつと外の手段が用ひたい」

「森村樣、でも、お師匠樣は、一度確かにお用ひになつたと見え堅く堅く、信じてお出でになりました」

「森村樣、お網樣、あつしとかう意見がまちまちになつては限りますが、それなればかうしては如何でご座りませう。森村樣にしても、お網樣ご自身が捕へられて、牢へおゆきになるのをお案じになるのでせうから、此處はあつしとこのお定を使ふことにいたしませう。彼女なら大丈夫仕損じはありません。何か役人の面前で惡事を働かせ、捕へられて行先は六角に一つある女牢獄。お高樣と一つ檻の下に入れられるに違ひ無いんですから、藥を持つていかせ、此方での心配を殘らず話させて、お高樣のお心任せにした方がよろしいぢやございませんか」

「なる程。流石は、吉兵衞ぢや　いい處へ氣がついた。其方許のお定なら、それ位の役目は、造作なく遂げやう。一つ、頼みたいものぢや」

「私自身でせねばならないと思つた役目を、お定殿にして貰ふことは、何ぼうにもお氣の毒でならない氣がいたしまする」

日印協定假調印 昨夕六時決定の筈

特惠關稅承認を條件に入るか 廣田外相から回訓

(東京國通)在デリー澤田代表は十八日ボーア長官と會見したがその際ボーア長官は所用あつて二十日デリーを離れなければならぬので出來れば十九日中に日印協定の假調印を行ひ度い旨を申し出でるに至つた、依つて澤田代表は直ちに本省に對し請訓し來つたが右に對し廣田外相は最後の懸案となつた特惠關稅承認を條件中に挿入する件も日英双方の撤回により解決する事に異存なしと認め調印差支へなき旨を回訓十九日午後六時日印協定假調印を行ふこととなつた

特惠條項の挿入の希望を放棄

日印新條約の調印近し

(東京國通)廣田外相は日印通商條約の起草問題に關し印度側が澤田代表に對し英國政府は新條約に英印間特惠關稅に關する條項を挿入せんとの希望を放棄する意向なる旨を通じて來たので十八日之が對策に關し外務省首腦部の討議の結果、英國側が右企圖を放棄する以上は我國と接壤國との間に於て今後特惠的處置を取結ぶ事あるべき旨を留保し置く條項を新條約へ挿入の要求は之を主張の必要なしと云ふに意見一致し廣田外相は即時澤田代表に對し此の問題發生前の狀態に戾つて新條約の起草を進捗せしむる樣訓電した尙新條約案に關しては外務省で最後的調査を加へた上一兩日中に之を澤田代表に通達する筈で、二十五日頃には澤田 ボーア兩代表間に新條約の署名完了を期待されてゐる

有吉公使 汪精衛氏を訪問

(南京十八日發國通)歸國挨拶のため南京訪問の有吉公使は十八日午後四時汪精衛氏邸の晩餐會に臨席 政府要人と歡談を交へ同九時辭去した

マッチ販路協定に商工省斡旋か

瑞代表カーター氏の說に吉野商工次官贊成

(東京國通)商工省に對して日本スエーデン兩國の燐寸販路協定締結の斡旋を依賴中のスエーデン代表者カーター氏は十八日午後商工省に吉野次官を再度訪問、協定案を提示した、依つて商工當局では之に基き審議の上マッチ輸出業者に對し之を內示する筈であるが、商工當局としては大體に於て右協定案に贊成なるもの〻如くであるから恐らく當業者の要求を考慮して協定に應ずるもの〻如くである、而してカーター氏に對しては一兩日中に回答する筈である

農村低利資金 相當優先的に承認

原額實に一億二千三百五十萬

(東京國通)各種農村施設に伴ふ低利資金に就き農林省では五月上旬預金部運行委員會が開かれるので取急ぎ協議を進めて居るかこの程大体の纒りがついたので直ちに大藏省と折衝を開始した、その金額は昨年に比し相當增加して一億二千三百五十萬圓の巨額に達し大藏省か原額を承認する事は無論困難と觀られるが九年度豫算に大削減を加へた點を考慮し相當の程度迄は優先的に承認するものと解せられて居る

我立場闡明に聯盟の論評

ソ聯の聯盟加入希望を强化と對支財政援助問題

(ジュネーヴ十八日發國通)列國の對支財政援助に反對の態度を明かにした我が外務當局に對し聯盟筋では日本從來の對支政策上當然の歸結で別段驚くに足らずとなし大要左の如く論評して居る

支那より手を引けとの日本外務當局の政策聲明は極東に於ける覇權の獲得に沒頭しつゝある日本として當然の論理的歸結であり絶えず聯盟の對支技術的援助特に外國よりの借款に對して反對し來つたところである、しかし聯盟の對支諮問委員會は五月中旬開かれそれに先き立ち文化委員會を開いて將來に於ける聯盟の對支政策の全般に亘り討議される事になるだらう、日本今次の聲明は支那の門戸を閉鎖することを察し結局日本が對支權益を獨占せんとする政策を意味するものと思へる、聯盟としてはかかる極東の情勢がソヴエート聯邦の聯盟加入の希望を一層强化する事を望んでやまない

王揖唐氏渡日

(天津十八日發國通)北支政務委員王揖唐氏は十八日天津出帆の商船「長城丸」で渡日の途に就いた

値上りを見越し資金の証券化で有價證券在行新記錄

(東京國通)東京手形交換所調査によれば三月末に於る全國組合銀行と代理交換銀行勘定の有價證券は、二月末の三十六億五千五百萬圓に對し、一億五千百萬圓餘の增加を示して新記錄を作つたが、この急激な增加の原因は一般銀行が四月以後政府資金撒出しによる金融の緩漫と、有價證券の値上りを見越して手持ち資金の證券化を急いだ爲である

十年振りに黑字 英國財政情態の好轉

(東京國通)英國財政は十年振りで赤字解消し三千萬ポンドの剩餘金を生じ本年度は所得稅の低減、減俸を復舊し失業手當を增加し得る狀態とな つたが右につき財政復興を考究中の大藏省當局は要するに政黨派的財政々策の處理を示し歲出切詰め增稅公債の低利借換をやつた結果で自然的に出來たものでない、此の點我が範とすべきで財政のインフレ化も四圍の事情で餘儀なからうが何時までもこれに賴らず適當時期に收入の均衡に努力すべきとされてゐる

閑院宮令旨傳達の旨

村上理事電報

閑院宮殿下は在東京中の滿鐵會社村上理事、羽田鐵道部長を御召になつて令旨を賜つたが村上理事は早速林總裁宛十七日次の電報を寄せた

今日午前十時羽田鐵道部長と〻もに閑院參謀長宮殿下の御召に預り鐵道事業遂行に關し有難き命旨を賜はる右謹んで御報告申上ぐ尙社員一同に宜敷く御傳達願ひ上ぐ

附屬地の競馬法も公布の運び

議會中の諸問題について日下內務局長語る

(大連國通)關東廳日下內務局長は在滿最高統制機關の機構問題、滿鐵業務に對する監督方針方法、附屬地に於ける行政事務の遂行等の要務を帶ひて議會開會中上京してゐたが十九日朝扶桑丸で歸連、直ちに歸旅したが船中で語る

六十五議會では滿洲問題が貴衆兩院を通じ相當深刻に論議されたが結果は滿洲國に對する根本方針及び將來の〝動向〟が明かにされつゝある關東廳に關するもの〻中在滿最高統制機關の機構を如何にするかは目下政府當局が研究中で關東廳としても其の資料を提出した關東廳が大になるか小になるかは最高統制機關の出來方一つだ滿鐵の專任監査役制度は樞府の御諮詢關係上法の公布は五月になるだらう滿鐵附屬地の競馬法商工會議所令問題も打合せを了し前者は近く官制の公布を見るが後者は現地機關內に最近異論を唱へるもの出で未だ決定に至らない其他關東廳法院、海務局、阿片患者救療所等の官制は不日公布の筈た、滿鐵地方行政就中教育行政移管に就ては既に拓務省では其の意向を決定、技術的研究即ち移管方策及びこれが財源等につき考究中である移管の善否を論ずる者の中には教育丈け切り離して〝移管〟することに異論もあるやうだが民間會社にやらせて置くより官廳でやることに贊成する向きが多い、要は技術的工作を如何にするか〻難點だ、鄭熙南持使に對する日本朝野の歡迎は非常なもので日滿提携の前途に頗る快い感じを與へた

入江貫一氏 廿日着任

滿洲國政府より懇望され宮內府入りをするに決した入江貫一氏は廿日午後七時半着「ハト」で着任する豫定である

滿鐵商事部の獨立 委員會を組織し研究

(大連國通)久しく社內に論議されて來た滿鐵商事部を獨立せしめ商事會社を設立する件は愈よ表面の問題となつた即ち十九日午前の重役會議は正副總裁山崎、竹中兩理事市川經理、石本總務兩部長出席の上竹中理事より東京での融資問題に要する情況報告ありて後商事會社設置の可否に就き委員會を組織して研究することに決定した、從つて重役團から委員長を出して商事部方面の關係者を選び現在までの資料及び新資料に依り更に必要に依つては直營、傍系諸會社中からも委員を追加し會社設立の可否に就き研究を進め直ぐ對案を得れば直ちに重役會議に上提し最後決定をなす段取りであると、右に就き石本總務部長は作るか否かを研究するので設立すると決定したのではないと言つて居るが昭和製鋼所、滿洲化學工業等一兩年中には生產賣出しの運ひとなり殊に日滿統制經濟生產調節統制其の他滿鐵改組問題等の客觀的情勢からも結局商事會社設立は實現するものと觀られて居る

讀者の聲

兒童の所持品には名を書かせよ

實地見物生

十九日午後三時ごろ馬車自動車が織る如く繁く通る新京驛前廣場で、七つ八つの學校がへりの女の兒がランドセルを背負つて、歸るわが家の道が判らず途方に暮れて泣いてゐた通りがゝりの一通行人が迷ひ子に氣付いて住所を尋ねても町名を知らず、西廣場小學校か室町かと聽いてもしらないといふ新しいランドセルの中を調べても雜記帳に『いろは』を一頁書いたのが二册入つたまゝで本もない、ランドセルにもノートにも住所も氏名も校名も記入してない、名前だけは蓮見アヤ子と名乘つたが全く困つた揚句驛前交番に屆けて西廣場室町兩校に通知してやうやく西廣場小學校の二年生と判つて四時擔任の先生が連れに歸つた、あや子さんは十七日入學して十九日休み始めて一人で登校したので中央通りの自分の家がわからず迷つてゐたものと判明した、親愛の子供を持たれる親ごさんや學校の先生は早速學用品には住所氏名學校名ぐらひは記入して欲しいものだ

梅本氏 民政部衛生司總務科長に榮轉

財政部事務官梅本長四郎氏は民政部の懇望により同部衛生司總務科長に榮轉する事となつた、衛生司では阿片專賣取締問題、稅關の檢疫、彩票利益による全滿地方病院設置等幾多の懸案計畫業務山積してゐる折柄同氏今後の活躍は非常に期待されてゐる

百萬圓の巨費を投じ承德の喇嘛廟を修理

滿洲文化協會の手で

(承德國通)世界的に有名となつてゐる神秘境熱河の離宮をめぐる壯麗なる八喇嘛廟は修理を加へざる事久しきに亘り、破損個所も隨分多くこのまゝ放置する時はあたら歷史的記念物も腐朽破損の程度を加ふるのみなので、識者間には早くよりその修理保存の必要が力說されてゐたが、何分にも莫大な經費を要する事ではあり修理個所も廣範圍に亘るので、修理方法の研究に相當の時日を要したが、この程成案を得たので今般滿洲文化協會の手で康德二年度より向ふ十個年間一ヶ年の經費十萬圓、總經費百萬圓の巨額を投じて修理し理想的の保存方法を講ずる事になつた、右に關しては文教部が直接間接に力を盡してゐるが、承德の國立公園計畫がある、今日建國後三個年の滿洲帝國が舊閥時代一顧だにせざりし喇嘛廟修理の一大文化工作に手を付けんとする事は世界に誇るべき事である

喇嘛廟と孔子廟に二萬圓を投じ雨漏りの應急修理

(承德國通)乾隆皇帝時代に創建された當地孔子廟は滿洲國最古の由緒あるものである腐朽甚しく昨秋水野梅曉氏等の來承の節も其の荒廢を惜み修理の必要を力說したが今年六月の雨期迄には喇嘛廟と共に雨漏りの應急措置を講ずる事となり目下省公署教育廳で準備調査中である、因に經費は二萬圓であると

軍刑法改正審査委員打合會

(東京國通)普通刑法の改正に伴ひ軍刑法も改正すべく陸海軍法務局で審査中だが近く陸海軍兩審査委員會第一回打合せ會をなし改正意見は左の通りで第一の點が大體決定するが全體として適用範圍が擴大される

一、軍人が軍刑法を犯すに當り常人が加擔した場合は常人にも軍刑法を適用するやう修正を加える

一、改正普通刑法總則の重要點たる量刑範圍の擴大は軍法會議の判事が專門家でない點から觀て軍刑法では不適當故に從來の劃一主義を踏襲する

更に電々會社人事異動を行はん

課長、主任級にも及ぶ模樣

(大連國通)滿洲電信電話會社では先般來二回に亘つて人事の異動を發表して設立以來の沈滯せる空氣一掃に努めて居るが更に第三次第四次と廣範圍に亘つて大量の異動が行はれる筈である

而して今後は現場方面のみならず、本社の課長主任級にも及ぶ模樣で 課長の異動は四五名と觀られ、今週中には若干の發表を見る筈である

中銀週報

四月八日より十四日まで中銀紙幣發行額は左の通り

項目	金額
紙幣發行額	[illegible]
準備	[illegible]
保證	[illegible]
鑄幣發行額	[illegible]

東拓對滿投資方針 南では製鹽

北では電氣、礦山、森林、採金に

支店長會議から歸つた渡邊支店長談

東洋拓殖株式會社新京支店長渡邊得司郎氏は東京において開催の支店長會議に出席中であつたが十八日歸京滿洲開發に對する今後の方策につき左の如く語つた

×

當會社は今日までは多く朝鮮の開發に重きをおいていたが今後は滿洲に重點をおくことになつた、滿洲への投資額は今日までにおいても約一億圓を要しているがこの投資を時代に順應して擴張充實を計ることは非常に大なる仕事である、今度東京に出張したのもこの滿洲開發に對する具体的方策についてであつたが、

×

今後の重なる擴張事業としては南方においては製鹽事業北方においては滿洲國でも統制してゆこうとしている事業の電氣、礦山、森林、採金方面であつて、大いに力を注ぐ考へである、このうち最も手取り早くやり得るものは森林の伐材でまた將來においても有望である、この森林伐材は現在においても牡丹江方面を中心として武裝隊の護衛のもとにどしどし仕事を進めているが、その面積も三十萬町步に亘るものである

×

その他酒精、製粉事業方面にも擴張の計畫をしているが、もう一つの大なる仕事は市街建設事業である、新京は人口增加にともない住宅不足難をきたしているので、この住宅建設方面にも計畫をすゝめているのみならず、民間に對しても住宅建設資金として百萬圓位の貸出しをする考へでいる、この點はそれだけ金融の圓滑をはかる事が出來るわけである、

×

以上の諸事業の擴張に對して今後一、二年間に約五百萬圓を投資する豫定である、然し東拓の本來の使命は朝鮮における土地經營が根幹であつた如く、今後この滿洲における農業方面の開發に向つて投資することこそ最も有望でありまた吾々の會社の使命に合致するものだと思つている、盖し現在の如く治安狀態が確立されていないでは充分に開發事業に進む事は出來難い樣である、現在においても奉天を中心とした奥地に約四萬町步の土地を持つているが合理的經營が出來ず放置している狀態である然し治安が維持されたらこの方面に大いに期待をもつものである要するところ今後はこれ等の諸事業に向つて全面的にまた積極的にやる考へでいる、

×

內地に歸つて痛切に感じたことは不景氣といふことであるがとくに農村の疲弊は甚だしくこの悲慘な狀態に接しては贅澤な生活など夢にもしてはならないと思つた、農村の疲弊しているために引いては都會の購買力が減退する譯で、都會といはず田舍といはずおしなべて不況にありその樣が目のあたり見えるようである、例へば農村における地價五十萬圓を有する大地主の如きも內面の經濟狀態を見ると年七、八萬圓の損害を受けるといふ有樣であつて、まして中小農の如きは米一俵八圓台の昨今の情勢では其の生活狀態は想像に余りあるものである、最もかき入れ時である溫泉地帶の別府の如きも一流旅館に宿泊するものは至極稀れである、只好景氣に浮き立つている階級といへば軍需品、外國貿易方面の一部分に過ぎない、これら內地の情勢よりすれば滿洲の景氣はむしろいゝわけである

興安事情調査班 踏査開始

興安總署では管下各旗の一般事情調査二ヶ年計畫を立て既に第一回調査班は兆南より突泉を經て科爾沁右翼中旗踏査に從事中である 尙東分省巴彥旗は全然未踏地域に屬し同旗內の資源的調査も行はれる筈で其結果は非常に期待されてゐる

滿鐵辭令

辭令	役	氏名
新京中學校講師を命ず		西尾 新六
甲種傭員を命ず 新京檢車區	准傭	田村 一郎
警手を命ず	准傭	佐藤 利雄
	同	後藤 三男
	同	後藤 由生
	同	湯田 忠次
	同	藤田 芳則
	同	笹沼 榮吉
	同	世良 茂雪
	同	笹原 英夫
	同	山口 武一
	同	藤咲 德壽
	同	富塚 丹哉
	同	弓田 俊雄
	同	中田 正直
	同	栗山 榮藏
	同	水野 喜久二
	同	清水 利幸
	同	山下 哲夫
甲種傭員を命ず 車手を命ず		新京檢車區

作柄調査 滿鐵の下打合せ

昭和九年作柄調査の下打合會を滿鐵側で十九日午後一時から地方事務所經濟調査室で左記の係員出席して開かれた、なほ下打合會に出席した者は二十日午前九時から實業部主催で大同自治會館で開かれる調査會に出席の豫定

出席者 ▲農務課青木▲ハルビン事務所黑川、吉武▲鐵道部早川▲鐵路總局中澤▲鐵道事務所根占▲經濟調査委員會員鈴木 岡澤、布施、外崎の諸氏

伊國實業家マリオ氏哈市へ

春の外人觀光團に魁けてイタリー實業家フオリテ、マリオ氏外三名は滿洲の經濟情况視察のため午前七時安東より着京小憩の後八時三十分發列車でハルビンに向つた

極めて順調な熱河の紙幣回收

(承德國通)中銀では六月末日迄に舊紙幣の全部を回收し國幣を以て統一することになつてゐるが從來熱河省には特別な紙幣發行され居らず熱河聖戰後興業銀行券七、八萬圓發行流通されたに過ぎず今回の回收には熱河地方の中銀は極めて圓滑に回收の實を擧げてゐる、尙東三省官銀號の一角、二角紙幣も銀貨到着次第銀貨と交換其の姿を消す筈である

偶語

けふ新京で開かれる特務部主催の居留民懇談會で滿鐵消費組合問題が講ぜられるやう傳へられてゐる▼消費組合の撤廢は在滿邦商に取つては多年の問題で事每に叫ばれて來たのだがいつかな實現性がなかつたものだ▼その理由に色々あらうが要は滿鐵自身にその意志がないためで、これではいつまで經つてもノレンに腕押しでまた都商側の言分にも無理がなかつたとはいへぬしかし今度のそれは純然たる撤廢論でなく今後生活必需品のみに限ること現金傳票を撤廢すること唯だ此二點をあげてゐる▼單に生活必需品と一口にいつたところでその內容は明かでないが後者はいふまでもなく組合外への販路を絶對禁止しやうといふ肚にほかならぬ▼が何にしても今度の提案は從來の如き强硬なものでなく、無理もないところに必ずしも實現性はないでもあるまい

無事使命を果し

夢禪茶語「三」

トラック」四八八七番（世は花）

熙特使一行かへる
さすがに晴れやか熙大臣
日滿官民　盛んな歡迎

赴日修聘特使として日本朝野の大歡迎を受け無事使命を果して朝鮮經由歸國の途にあつた滿洲國財政部大臣熙洽氏は阪谷總務次長、星野財政部總務司長、その他隨員とともに十六日午前七時三十分着、去る三月二十一日晴れの出發いらい凡そ一ヶ月振りで賑かに歸京した　これより先き特使一行を出迎へるべく軍部、滿洲國附屬地の日滿各機關代表者を始め各方面名士その他一般熱心な民衆ら吾れ先きにと詰めかけ、多數官民の盛んな歡迎裡に特使一行は途中まで出迎えた遠藤總務廳長その他とともにけふは一層晴れやかな姿に流石に包み切れぬ歡ひを見せて下車すると、ホームは一とき歡聲どよめく、かくて一行は快く各社寫眞班のレンズにおさまり高澤驛長の先導で一旦貴賓室で休憩こゝで一々出迎えの人々の挨拶を受け憲警の嚴重警戒裡に沿道日滿人の歡呼を受けながら自動車を連ねてそれぞれ自邸へ向つた

鄭總理
別府の傷病兵慰問

（別府國通）鄭總理大臣は十九日終日休養、鄭禹氏、白井秘書官を代理とし大分縣廳を訪問挨拶をなさしめ、又別府で療養して居る滿洲事變傷病兵を慰問、二十日午前九時四十五分宮崎に向ふ豫定である

六月三日の運動會
滿洲國と滿鐵が鉢合せ
どちらが讓るかが問題

滿洲國ではスポーツを通じ五族融和をはかり、併て曠古の大典を慶祝する意味で、六月三日全國一齊に滿洲國体育協會が主体となつて、大典慶祝大運動會を開催　新京では西公園で擧行することゝなつたが、滿鐵でも同日滿鐵運動會を新京支部が恒例の大運動會を同じく西公園で行ふ豫定で、こゝにはからずも同じ日、同じ場所で兩者が運動會を開催するといふ奇現象を呈した、これを發見した滿鐵地方事務所野村社會主事は驚いて滿洲國體育協會に『日時を變更されたい』と申込んだところ同協會は單に『考慮する』旨を答へ、確答をしなかつた、しかし西公園は滿鐵の所有地であり、六月の第一日曜に運動會を開催するのは年中行事ともなつて居り、新聞、ポスター等で發表廣告してゐる優先權もあるので結局、滿洲國側の讓歩となるのではないかと見られてゐるが、何れにしても珍らしい出來事である

圖們税關員
密輸ギヤング團に襲はる
關員重輕傷七名

去る四月十六日圖們税關員密輸ギヤング團に襲はれ重輕傷七名を出した旨十九日財政部に入電があつた、即ち同日午後九時同税關員が圖們江岸で密輸者を取押へた處前方の島及後方の江岸より棍棒を所持せる約百名の暴力團現はれ密輸人を奪還せんとして格鬪し間もなくギヤング團は退散したが關員七名は重輕傷を負ふた重輕傷者左の如し

△重傷者　宮本雪平　久保田耕人、松山春吉　宮本準吉

△輕傷者　金貴　杉山俊夫　一ノ瀨清吾

した、尚車輪の損害は無かつた爲め同車はその儘進行を續け〇〇に向つた

スリ捕はる

十八日午後四時ごろ新京百貨店前で人力車が衝突し双方が口論中見物人で黒山を築いたのを機會に奉天省生れ李學品（二七）が見物人のポケットから蟇口を拔いてゐるを新京總領事館署谷口刑事が發見逮捕し取調べると犯人は昨年末から新京に乘込み城內、附屬地の盛場でスリを專門に働いてゐたもので余罪多數にのぼる見込みである

扶桑丸就航記念

大阪商船株式會社の日滿連絡船扶桑丸は八千五百噸最強速力十七浬船客定員一等四十二名　二等八十八名、三等五百六十一名を收容出來既に就航してゐるが今回その就航記念として美麗な繪葉書額面等を頒與した

故永島一等軍醫正の遺骨
悲しく凱旋

前佳木斯衛戍病院長陸軍一等軍醫正永島孝澄氏は四月始めから病氣でハルビン衛戍病院に入院加療中であつたが藥石効なく十五日午前十時逝去した遺骨は令孃マツ子さんヨシ子さんに捧持され十九日午後三時廿五分着列車で新京に到着軍部市民旅行者の燒香をうけ午後四時卅分發列車で悲しく朝鮮經由で內地に凱旋した

東部線の匪賊蠢動
又復軍用車爆破を企つ

（ハルビン國通）十九日午前零時三十分頃北鐵東部線橫道河子、山市間を進行中の我が軍用裝甲汽動車が匪賊のせる爆彈に觸れて爆發　敷設同車の底部を打ち拔き兵一名重傷

南支への旅（四）
新京高女修學旅行團

我校の圖書室の弱さに一寸悲觀する『さあどうぞ』と云はれて、唇にふれる麥茶の高い香！

谷さんの挨拶が終つて校內を參觀、一體に重々しい感がした、作法室は日本間と洋間、日本間の壁には十數台の琴が明るい日射をうけて立てかけられてある、又洋間には澤山の優勝カップや優勝旗が目もさめるばかりに飾られてある

參觀を早め先生方や校舍に別れを告げて八幡山の急坂を山上へ山上へと急ぐ、山頂の一段高いところに石造の測候所があり、ラ線形の階段をぐるぐる登つてバルコニーに出ると青島の全景は一眸の內に收められて、實に一卷の繪圖の樣だ、青丹の甍は高く低く鮮に建ち續いて蒼海に迫つてゐる對岸の加藤島翠綠滴る美觀を呈し、大港は黒煙を天に沖する黒船をならべ帆柱の林立する小港、白帆眞帆は靑い水面を上つて綾錦を織なして行く南方には白砂を控へて日の御旗の飜飜とひるがへる日本總領事館大時計台を有つ舊ドイツ教會、未だ工事中のカトリツク教會がありその左方には高いアンテナ柱を天空に突立てゝゐる無線電信局がある眼を北方に廻らせば手近に弧山と勞山とが二つの背を橫臥せしめてゐる、路に山にかくも色とりとりの家屋を造つた人間の仕業に感心する、小し黒味を帶びてゐる屋根は皆舊ドイツ時代のものである、眺望に見惚れて思はず時を過す先生に追立てられる樣にして乘車、一氣に海濱公園にかけつける、丹塗の門を背景に寫眞を撮る、石の段々を降りて赤茶けた巨巖の間を通り恒沙の眞砂をザクザクと踏む馬蹄形に彎曲した灣內は　水碧く澄み切つて、東洋第一の稱ある忠海の海水浴場を造る赤と丹青に塗りこめられてゐる水族舘は私等を童話の世界に誘ひ入れ、龍の宮居を想像させる『いゝなあ』『いゝなあ！』と一人として感嘆の聲を口にしないものはない、名殘を惜しみつゝ灰泉角砲台、とイルチス砲台へ、兩者とも獨逸の建設にかゝつて、日獨戰爭の際には防備上、一大威力を示したものだ、我が軍はこれが爲に多大な苦心と犧牲とを拂はされたと聞く、今も尙隨所に彈痕が留め、如何に激戰のたなかつたさうだ、海岸通を疾驅して自然の雅趣に富む中山公園に入る黄色を誇る菜の花畑がちよいちよい眼を[illegible]す地であつたかを物語つてゐる砲壘のコンクリートは厚さ六七尺、如何なる大砲も歯が立める、大きな風車がくるくる廻つて池畔の靜寂を靜かに破つてゐる、滿洲には見られぬ珍しい光景である、奧へ奧へと進み入つて、忠靈塔（加藤大將建設）に詣る、車を後返りさせ、市街に出て青島の銀座通りと呼ばれる、中山路を通る、こゝの交通整理は他所とその風を異にして奇異の感を抱かしめるものだ、自動車は皆路の眞中に停車してズラリと一直線を描いてゐる、人は皆右側を通行してうつかり左側を通れば衝突は免れない靑物市場がある、二階は雜貨物商場を一寸のぞく、一階を商つてゐた、ごちやごちやしてゐて買物する氣も起きないそこそこに引上げて埠頭につく出帆の正午には未だ時間があつた、甲板の欄にもたれて乘り込む船客の國籍定めを始める、出帆の用意のドラが鳴る親切にお世話下さつた先生方や大森さんに厚い感謝の辭を述べる、岸壁を船は離れサヨナラサヨナラの聲がお互に力強く交された、テープは切れてヒラヒラと舞ひはかなくゆれて忽ち波間に吸ひ込まれてしまふ、青島の山々や市街は次第に遠ざかる、美しい靜かな青島よ！今日はあまりにもめまぐるしい見學であつたが歸途には必ず訪れてゆつくりとした氣持で私等は御身の美しさ靜けさ、和やかさに抱かれよう、我等の船は再び大海に出て針路を南に取る（蘇濟）

都塵を避け
お花見は如何です
ビユーローと驛主催本社後援
來月六日星ケ浦へ

馬糞とごみの新京からのがれて一日でもよいから春風に吹かれて花見の氣分を滿喫するのも首都新京市民にとつては必要なものであらう、新京驛及びジヤパンツーリストビユーロー新京案內主催本社後援で大連星ケ浦觀櫻團体を左記によつて新京から團員を募ることゝなつた恰度星ケ浦の櫻花が半分蕾で半分開くごろとニユースが入つた來月六日の日曜日を利用して一日の散策を試みることにしてはいかゞ

一、募集人員一百名では如何

一、日程　五月五日（土曜）午後四時三十分發急行、六日（日曜日）午前七時大連着貸切電車で（約四十分）星ケ浦に直行觀櫻會場で御馳走券引換への上自由行動六日午後九時大連發列車で新京に七日（月曜日）午後一時五十五分着

一、團費　大人一名金十六圓　小人一名十圓二十錢（往復汽車賃、六日朝食、六日御馳走券、七日朝、晝食、酒、肴福引その他團体行動一切の諸費用を含む）

一、車內催物　かへり車中で福引をやる

一、申込受付五月三日締切り（但し申込みと同時に團費全額納入のこと）

一、受付個所　新京驛、及び驛前ツーリストビユーロー（電話驛二〇一六、ビユーロー三三九三四七七二）

なほ團員は百名に限られてゐるからお早く申込まぬと滿員のおそれがある

日滿保安連絡の第一回會議

新京署井之上保安主任、總領事館署原保安主任、首都警察廳深田保安主任の保安行政の第一回連絡會議は十九日午後一時から總領事館署で開催し交通問題につき協議を重ねた結果

一、自動車運轉手の共同試驗の促進をはかること

一、馬車、人力車の共同取締の徹底を期することを申合せた

祝祭日には
日滿兩國旗を汽車に立て
奧地社員待遇も改善
社員會評議員會提出議題

既報、五月十二日大連における滿鐵社員會評議員會に新京聯合會から提出すべき議題審議のため十九日午後三時から驛貴賓室で開かれた評議員會は中山聯合會長、高澤驛長、佐竹勧役を始め二十五、六名は愼重な態度で左の二件を審議すること數時間に亘り午後六時三十分解散した

提出議題

一、日滿兩國祝祭日には旅客列車に日滿兩國旗を掲揚すること

一、地帶性による社員手當、改善促進の件

右二題の審議の後來る三十日大連における幹事會には社員待遇に關する件を提出することに決議し、終つて最後の消費組合を社員會で經營の可否につき討議した結果研究の餘地ありとの理由で可否を決するにいたらなかつた

新京の春競馬
愈よあすから
前景氣は素晴しい

康德元年に於ける滿洲賽馬の魁としてファン待望の新京賽馬會は來る二十一日より大房身で開催されることになつたが、抽籤駿馬七十頭の初出走のほかに新呼優秀馬二十頭も出場し、遠く大連、安東よりも參加少からず人氣を呼んでゐるが馬政局では馬匹奬勵のため新呼馬競走第一着に優等賞を授與することに決定、これが榮冠をめざして各出場者とも非常な意氣込であり、各競走とも昨年秋季競馬に較べて盛況を豫想される

次から次へ視察團
鐵道は照會で轉手古舞ひ

新京鐵道事務所には五月中の鮮滿蒙視察旅行團体の照會書類が次から次へと到着してゐる既報の分以外に又々次の團体が來る豫定

一、福岡市今泉商店招待醬革會滿蒙視察團四十名五月四日午後一時五十五分來京翌五日午前八時卅分發哈市へ

一、旭川驛主催鮮滿視察團二十五名五月四日午後四時吉林から來京五日午前八時三十分發哈市へ

一、小倉商業學生六十五名五月一日午前六時來京、同日午前八時三十分發哈市へ二日午後三時二十五分歸京三日午後十一時三十分着南行

一、室町小學修學旅行團百九十七名五月七日午前十一時三十分發旅順方面へ十一日午後四時四十分歸京

函館火災義捐金
三千二百餘圓に達す

その後に於ける函館大火義捐金を本社に寄託したものは永樂町三丁目小西鐵三氏の一圓吉野町一丁目の峰村克己氏、三笠町の演藝舘で十四日から四晩興行純益を四十三圓六十錢醵出を申出た、江戸家猫八これには演藝舘の持主岸本朝次郎氏が料金を取らずに小屋を貸し本社は宣傳廣告料を取らなかつたなど蔭の援助がある小計四十五圓六十五錢累計三千二百八十一圓二十五錢

滿電の新造バス
五月十日頃から運轉の運び

南滿電氣新京支店では既報の如く新京の發展に伴ふ人口の激增に依りバスの乘客が益々增加するのに鑑み豫ねてバス十五台を增配すべく計劃してゐたのを新造中の處內七台は近く出來上るので來月十日前後から運轉し、他の八台も遲くも六月頃から運轉が出來る見込みであると

ビユーロー主任着任挨拶

ジヤパンツーリストビユーロー新京案內所主任桑原明氏は同大連支部調査宣傳主任西田龜萬夫氏と同伴十九日挨拶に來社した

新京郵便局
郵便課長更任

既報の通り新京郵便局郵便課長伊藤豪氏は蘇家屯郵便局長を命ぜられ後任として來京した本田菊次氏と同伴十九日更任挨拶に來社したが伊藤氏は二十日午前九時發列車で新任地へ向ふ

訓練中衝突
ロの五十九號潜水艦

（橫須賀國通）橫須賀鎭守府所屬潜水艦ロの五十九號は十九日午前一時頃東京灣外を館山に向け訓練航行中水中より浮揚の刹那汽艇と衝突し艦首を小破したので豫定を變更して橫須賀に廻航した、損害は輕微である

函館火災義捐金

△一圓永樂町三丁目小西鐵之　△一圓吉野町一丁目峰村克己　△四十三圓六十五錢岸本朝次郎江戸家猫八小計四十五圓六十五錢累計三千二百八十一圓二十五錢

居住消息

▲大保時男氏（熊本縣）花園町四丁目一番地五十三ノ二へ

▲越前慶吉氏（東京府）大連から蓬來町一丁目十二番地へ

▲尾柏孝三氏（富山縣）千鳥町七丁目一番地へ

▲三神惠空氏（滋賀縣）花園町四丁目六十五番地ノ二へ

▲岸野鶴治氏（兵庫縣）梅ケ枝町四丁目十四番地へ

▲池田義計氏（愛媛縣）大和通り昭和舘十九號へ

▲芝原勇氏（福井縣）露月町三丁目六十五號の四へ

轉居

▲中澤貴一郎氏羽衣町二丁目二百六十六番地から公主嶺へ

▲米谷幸藏氏大和通り四十七番地から日本橋通り四十八番地へ

甲斐布教師稿（大正寺詰）

之で意見を異にする兩部の討論は終りました

『先生の御批判並に決裁を御願ひします…』

級友に代りKが低頭しました

『まだまだ』

先生は『まだ〻〻』と申されます、偖て？

『中央黨が未だ一人いる筈！』

成程—中立を申出でた哲人殿が殘つている、東西の何れにも組しないと云ふなら彼には亦彼の主唱が有る筈です

『最後に中立M君の御高見を拜聽致します！』

K君中々チヤレ氣味滿々です然し『御高見拜聽』とはよく出來ました、

『哲人やれ！』

と誰かがドナリました、

『M！早く！』

先生が登壇を促しました、哲人Mは登壇しました

『僕に語れ！と諸君は云ふ！』

[illegible]した主義がない、丁度河水の流れに似て任運だから…』

一言一句益々變つてます、聞いて見ると俗離れしている、

『僕は前陳二者の所見に基きお話して見やう』

『其は先生の役割だ—』

と彌次が飛ぶ—

『頼みます—』

とK君が叫ひました、

『東部C君の說は偏神主義排擊—の樣に感する…西部N君の說は本能主義禮讃—の樣に思ふ—即ち前者は、『生者共通の』も『弱きもの』も共に生きて行かねばならないだのに『強きが』故に『弱きもの』を征服して而も得意然たることは斷じて許されぬとの趣意らしく後者の說は『生者』が『無限生命』の欲求あることを認め而して其の欲求—生命本能に立脚して或る程度の鬪爭を容認する—との趣意と解釋する、更に兩者の主義を要約すれば前者は理想主義、であり後者は現實主義、と思ふ哲人の批判は銳く深よ其舌端は次第に熟してきます

『諸君!!』

絕叫一呼！哲人は愈々本論に入ると見えます

『弱き』を助くる爲め強きを排擊する、情義厚し、と見えてしからず之も偏頗です

『生きる』爲めとは云へ『強きもの』が『弱きもの』を征服し犧牲にする、之も殘酷な偏道です、兩者何れも和合圓滿を缺く野獸的、傷け合ひの生活と僕は思ふ！

見よ！諸君！現今地上の人類を！この傷つけ合ひ』の鬪に疲れ切つている樣を!!

懸賞
目の健康増進『毎朝點眼』の標語募集
賞金　當選　五拾圓づゝ　五名
次點以下受賞者一千餘名
別項の豊田博士の言にもある如く、最も大切な我々の目を恐るべき紫外線から護り、目の衰弱を防ぎ、目の健康を保つ爲めには、國民擧つて「毎朝の點眼」を勵行する事が最も肝要であると、學者方面から主張されて居ります。
我社が茲に賞を懸けて「毎朝點眼」の標語を募集致しますのも、以て一般の注意を喚起し、この非常時に當り國民の健康増進の一助ともならば幸ひであるとの微意に外ならないのであります。規定御熟讀の上、奮つて御應募を願ひます。
募集規定
一、標語は一句二十字以内、解り易く要を得たるものを採る
（例）毎あさ、洗面後の一滴、終日あなたの目を護る
一、用紙は官製はがき（一枚に一句）の事
一、一人にて何句應募するも自由とす
一、同案ある時は先着を採る
一、應募標語の使用權は參天堂株式會社に歸するものとす
一、宛名は　大阪市東區北濱一丁目　參天堂株式會社　大學目藥懸賞標語係宛の事
一、締切＝昭和九年五月三十一日本社着限り
一、發表＝昭和九年六月本紙上に發表す
一、審査員（ABC順）
小說家　佐藤紅綠氏
詩人　薄田泣菫氏
　　坪内士行氏
一、賞品
當選　金五拾圓づゝ　五名
次點　金參拾圓づゝ　拾名
佳作　ケース付大學目藥壹個づゝ　壹千名
大阪市東區北濱一丁目　參天堂株式會社
痛まずシマズ、心地よくキク
大學目藥
（滿洲名＝特製大學眼藥）
人造鼈甲・ケース付
一瓶入　三十錢
二瓶入（ケースは一個）　五十錢
補充用特大瓶付（同）　一圓
ケースなし
小瓶　二十錢
大瓶　三十錢
德用　五十錢
（小兒用）　二十錢
毎あさ、洗面後の一滴、終日あなたの目を護る
專賣特許ウルビオレギン應用
一ツの藥で三作用
1、眼病を治し
2、目を美しくし
3、紫外線の害を防ぐ
適應症
○トラホーム　○結膜炎　○角膜炎　○やに目　○ほし目
○光線による眼炎　○凝り目　○疲れ目　○突き目　○血目
○ただれ目　○はやり目　○のぼせ目　○かすみ目　○打ち目
○なみだ目　○はれ目　○麥粒腫　○くもり目　○雪目
大學目藥
紫外線の防止と毎朝の點眼に就て
豊田眼科病院長　醫學博士　豊田正達
近代文化は一面から見て光の文化と稱せられてゐる如く、多種多樣の强烈なる人工光線の應用は文化に對して非常に大なる貢獻を爲しつゝあるのであるが、太陽の光線より外に光を知らなかつた太古の人の目と、その機構に於て少しの相違もない近代人の目にとつてこの强い光のスピード的氾濫は確かに一つの脅威である。
果して、特に都會生活者に於て、光線中の紫外線の爲めに知らず〳〵の裡に目の健康を害し、視力の減退を來しつゝある者の多き事は想像以上であつて、國民保健上、誠に寒心に堪へない所である。
たゞさへ生活樣式の煩雜と印刷文化の進步に驅使せられて、目の酷使が余儀なくされ、視力減退の傾向が顯著である際に、强烈な光線の紫外線の害が加重されて、急速に一般人の目性が惡くなり、眼病に罹り易くなり、目の義務を阻め、國民の活動力を失はしめつゝある事は、實に等閑に附し難い事と思ふのである。
そこで、余は眼科醫の立場として、最も簡單にして有効なる「目の健康增進」の方法として「毎朝點眼の勵行」を提唱したいと思ふ。
この方法は、洗面所に目藥を備へて置いて毎朝洗面後に一滴點せばよいのであるから甚だ簡單であるが、その効果たるや、余の實驗の上から見ても頗る大なるものがある。
但し、使用目藥は「紫外線防止の作用」を有するものを選ぶ事が必要である。
紫外線防止を目的とする目藥の發明は、數年前獨逸に於て爲されたのが最初であるが、それはアルカリ性である故に副作用もあり、治療的効果が無く、價も非常に高價であつたので一般に普及し得なかつたのである。
爾來この種の目藥の研究が專門家の注目する所となり、我國に於ても可なり研究が行はれてゐる樣であるが、最近參天堂研究部にて專賣特許を得た紫外線防止藥「ウルビオレギン」はそのスペクトラム寫眞に依る光學的試驗に於て紫外線の有害波長部は見事に吸收されてゐる事が證明され得る程優越せるものである。
之を巧みに眼疾患治療藥品に配劑するに及んで、「紫外線防止」と「治病」と「美眼」の三作用が一つの藥瓶中に渾然として融合し、眼科藥として極めて優秀なるものとなつた事は、參天堂研究部の大なる功績として推讃に値する所である。